

衆第八十一回帝國議會議院臨時利得稅法中改正法律案外十一件委員會議錄(速記)第四回

昭和十八年二月四日(木曜日)午前十時十八  
個開義

出席國務大臣左ノ如シ

特別行爲稅法案(政府提出)

ス、ソレダケ先ヅ伺ヒマス

卷之三

出席國務大臣左ノ如シ	大藏大臣	賀屋 興宣君	○松村委員長	是ヨリ會議ヲ開キマス――
出席政府委員左ノ如シ	大藏省主税局長	松隈 秀雄君	○小野秀一君	特別行為稅法案(政府提出)
大藏書記官	池田 勇人君	○小野秀一君	輸出スル物品ニ對スル内國稅免除又ハ交付 金交付ノ停止等ニ關スル法律案(政府提出)	
專賣局長官	平田敬一郎君	○小野秀一君	酒稅法中改正法律案(政府提出)	
平田敬一郎君	木内 四郎君	○小野秀一君	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	
木内 四郎君	四郎君	○小野秀一君	臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)	
四郎君	四郎君	○小野秀一君	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	
四郎君	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	○小野秀一君	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	
酒造組合法中改正法律案(政府提出)	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	○小野秀一君	清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)	
酒造組合法中改正法律案(政府提出)	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	○小野秀一君	取引所稅法中改正法律案(政府提出)	
酒造組合法中改正法律案(政府提出)	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	○小野秀一君	遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)	
酒造組合法中改正法律案(政府提出)	酒造組合法中改正法律案(政府提出)	○小野秀一君	入場稅法中改正法律案(政府提出)	

ス、ソレダケ先ヅ伺ヒマス。  
○松隈政府委員 先づ清酒ノ最近ニ於ケル  
高ヲ申上げマス、昭和十三酒造年度ニ於  
キマシテハ三百九十六万石程度デゴザイマス、  
昭和十四酒造年度ニ於キマシテヘ、ソレ  
ヨリ減少致シマシテ、二百四十五万石程  
度デゴザイマス、ソレカラ昭和十五酒造年  
度ハ二百六十四万石程度ニナツテ居リマス、  
昭和十六酒造年度ハ二百七万石程度デゴザ  
イマス、昭和十七酒造年度ニ付キマシテハ  
御話ノ如ク百六十万二千石程度ノ見込デゴ  
ザイマス、清酒ニ使用致シマス原料米トシ  
云々、昭和十三酒造年度ニ於キマシテハ三  
百四十四万石程度、昭和十四酒造年度ニ於  
キマシテハ二百万石程度、昭和十五酒造年  
度モ二百万石程度、昭和十六酒造年度ハ百  
五十九万石程度デゴザイマス、ソレカラ昭  
和十七酒造年度ト致シマシテハ百二十六万  
二千石程度デゴザイマス、先日今年ニ於キ

貞長	松村	光三君	事三木	武夫君	小野	義一君	川崎末五郎君	木村	正義君	田中勝之助君	中島彌團次君	橋本	祐幸君	渡邊善十郎君		
崎巳之太郎君	英治君	理事小泉	純也君	密君	理事藤本	捨助君	九鬼	紋七君	小林	絹治君	原口	純允君	松永	壽雄君		
小野	秀一君	勝君	正憲君	川崎末五郎君	木村	正義君	中島彌團次君	橋本	祐幸君	渡邊善十郎君	前田	善治君	山中	義貞君		
有馬	英治君	勝君	正憲君	木村	正義君	田中勝之助君	中島彌團次君	橋本	祐幸君	渡邊善十郎君	松岡	秀夫君	山中	義貞君		
紅露	昭君	九鬼	紋七君	小林	絹治君	中島彌團次君	橋本	祐幸君	渡邊善十郎君	三善	信房君	前田	善治君	山中	義貞君	
事河野	密君	勝君	正憲君	川崎末五郎君	木村	正義君	田中勝之助君	橋本	祐幸君	渡邊善十郎君	松永	壽雄君	前田	善治君	山中	義貞君

出席國務大臣左ノ如シ	大藏大臣	賀屋	興宣君
出席政府委員左ノ如シ	大藏省主税局長	松隈	秀雄君
	大藏書記官	池田	勇人君
	大藏書記官	平田敬一郎君	
	專賣局長官	木内	四郎君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ			
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)			
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)			
酒稅法中改正法律案(政府提出)			
酒造組合法中改正法律案(政府提出)			
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)			
取引所稅法中改正法律案(政府提出)			
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)			
物品稅法中改正法律案(政府提出)			
遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)			
入場稅法中改正法律案(政府提出)			

○小野秀一君  
○松村委員長　是ヨリ會議ヲ開キマス――  
○小野秀一君  
○小野秀一君　私ハ數字ノコトニ付キマシテ、初々ニ煙草ノ事賣益金等ニモ關係致ジマジテ、御分リニナル程度デ御答へフ願ヒタイト思ヒマズ、先ヅ主稅局長ニ御尋ネ致シマス、酒ノ造石高ガ漸減シ出シマシタ初メノ年度ニ遡リマシテ、其ノ實際ノ數字ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマズ、ソレカラ本年度ノ酒稅ノ前年度ニ加ヘル所ノ增收ノ總高、ソレカラ本年ノ酒ノ造石高ハ百六十万二千石ト承知ヲ致シテ居リマスガ、ソレニハ主要食糧デアル米ヲドノ程度ニ消化致スモノデアルカ、ソレカラ合清酒ノ原料ト主要食糧トノ關係ハドンナコトニナツテ居リマスカ、數字的ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマ

ス、ソレダケ先ヅ伺ヒマス。  
○松隈政府委員 先づ清酒ノ最近ニ於ケル  
高ヲ申上げマス、昭和十三酒造年度ニ於  
キマシテハ三百九十六万石程度デゴザイマス、  
昭和十四酒造年度ニ於キマシテヘ、ソレ  
ヨリ減少致シマシテ、二百四十五万石程  
度デゴザイマス、ソレカラ昭和十五酒造年  
度ハ二百六十四万石程度ニナツテ居リマス、  
昭和十六酒造年度ハ二百七万石程度デゴザ  
イマス、昭和十七酒造年度ニ付キマシテハ  
御話ノ如ク百六十万二千石程度ノ見込デゴ  
ザイマス、清酒ニ使用致シマス原料米トシ  
云々、昭和十三酒造年度ニ於キマシテハ三  
百四十四万石程度、昭和十四酒造年度ニ於  
キマシテハ二百万石程度、昭和十五酒造年  
度モ二百万石程度、昭和十六酒造年度ハ百  
五十九万石程度デゴザイマス、ソレカラ昭  
和十七酒造年度ト致シマシテハ百二十六万  
二千石程度デゴザイマス、先日今年ニ於キ

石デアルト申上ダミタノハ、「ビル」ヲ除キマシテ、清酒其ノ他ノ例ヘバ濁酒、白酒、味淋ト云ツタヤウナモノニ使ヒマスル合計ヲ申上ダマスルト百二十六万二千石程度デゴザイマス、ソレカラ合成清酒ノ主タル原料ハ甘諸デアリマス、其ノ外馬鈴薯或ハ其ノ以外ノ澱粉原料モ多少用ヒマスルケレドモ、主ナルモノハ甘諸デゴザイマス、甘諸ニ付キマシテハ本年度ノ割當ヘ合成清酒、焼酎其ノ他ヲ含メマシテ、約六千五百万貫ノ割當トナツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ今回ノ増税ニ依リマシテ、酒税ガ何程増スカト云フ金額ハ、昭和十八年度豫算ニ追加計上致サレマシタ金額ハ三億七千二百万圓程度ニ相成ツテ居リマス、以上御答へ申上ダマシタ

六 税金面ニ於テ得税 法ノ利 臨時和  
得税等ニ對比致シマシテ稅收並ニ稅外收入  
ノ雙璧デアルガ如クニ私共ハ承知ヲ致シテ  
居リマス、隨ヒマシテ國家ノ財政ニ收入ヲ  
致シマス此ノ金額ハ、當局ニ於カレマシテ  
モ重大關心ヲ持タレルノハ當然デゴザイマ  
ス、然ルニ今回酒、煙草ニ付キマシテ重點  
勞働者ニ、或ハ其ノ關係方面ノ勞働者ニ對シ  
マシテ、二重價格制ヲ兩方トモ採用致シテ  
居ル、謂ハバ大藏當局ハ此ノ方面ニ付テ國  
庫ノ增收ヲ圖ルト云フコトヲ目途ヘ致シテ  
居リマスルケレドモ、此ノ方面ノ稅金ガ餘リ  
ニ上ガルト云フコトハ、私ハ少クトモ好マ  
シクナイ問題デアラウト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ大藏當局ニ於キマシテモ、增收ニ悲鳴  
ヲ擧ゲテ居ルノデハナイカト云フコトハ十  
分私ニハ了解ガ出來ルノデアリマス、ソコ  
デ段々ト只今ノ御話ノヤウニ數百万石ノ主  
要食糧ヲ潰シテ、酒方面ニ向ケルト云フコト  
ニ付キマシテハ、段々稅ノ方面モソレニ累加  
ヲ致シマシテ稅額ガ向上シテ參ル、此ノ方  
針デ何處マデモ徹スルコトガ出來ルカドウ  
カト云フコトニ付テハ、私ハ非常ニ疑ナキ  
ヲ得ナイノデアリマス、其ノ反面ニ於キマ  
シテ、昨日有馬君カラ酒ガ如何ニモ戰時下  
ニ於ケル能率増進ノ一つノ道具デアル、而  
モ生活必需品ニマデ進展ヲシテ居ルト云フ  
シテ、コトヲ以テ酒ノ存在トシテ居ルノデアリマ  
ス、私ハ是ハ大衆ニ向ツテツノ迎合主義  
ノ上カラ、斯ウ云フ言葉ガ出ルノデハナイ  
カト云フコトヲ非常ニ疑フノデアリマス、  
私ハ少クトモ酒ニ於テハ特ニ人心ヲ鼓舞シ、  
或ハ激勵ヲスルト云フコトニ於キマシテハ、  
或ハ必需品デアルト云フヤウナツノ「ゼ  
スチニア」ヲスル、サウ云フコトニ於テハ、

有馬君ハ言葉ハ形容詞トシテ并轍到ノト  
ハ結構デアリマスケレドモ、少クトモ生活  
必需品デナイト云フ断定ハ下シ得ルト思ヒ  
マス、此ノ點ニ於キマシテ大藏當局ノ酒ニ  
對スル御方針ガ洵ニ正鶴ヲ得テ居ルト思フ  
ノデアリマス、併シナガラ一度ビ餘弊ノ存  
在スル所ヲ見マスルト、大藏當局ガ今回採  
用致サレマシタ二重價格制度ト云フコトニ  
付テ非常ニ私ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、  
而モ此ノ餘弊ガ段々ト推移ヲ致シマスルト、  
寧ロ眞實ナル一ツノ弊害ヲ痛感セザルヲ得  
ヌヤウナ一ツノ面ヲ現ハシテ參ルノデアリマ  
ス、ソレハ申スマデモナイ、色々ナ面ニ  
於テ此ノ弊害ガ出テ參ル、此ノ際私ハ御斷  
リヲ申上ゲテ置キマスルガ、酒ヲ飲マナイ  
者ガ禁酒ヲ主張シ、或ハ節酒ヲ主張シ、酒  
ノ全廢ヲ主張スルト云フヤウナコトヘ私ハ  
耳ヲ藉ス必要ハナイ、道義的ニ出テ來ル問  
題トシテ色々ナ酒徳ノ宣傳ヲスル部面ニ對  
スル、是等ノ道義者流ノ禁酒論ニハ私ハ耳  
ヲ傾ケルノデハナイノデアリマスルガ、私  
ハ數次ノ會合ニ於キマシテ酒ヲ頂戴ヲ致  
シ、大變酒ガ好キデアリマス、其ノ酒ノ好  
キナ者ガ自分ノ實驗ニ徵シマシテ、酒ト云  
モノハ時ニハ非常ニ良イモノデアリマスル  
酒徳宣傳黨ガ頻ニ言フガ如ク、或ハ或ル  
時期ニ於テハ志氣ヲ鼓舞シ、或ハ能率ヲ増  
進スルト云フ役目ヲ果スノデハアリマスル  
ケレドモ、此ノ酒黨ヲ排撃スル連中ノ言フ  
ニハ、酒ハ百惡ノ長デアルト言フ、酒飲ミ  
黨ニ言ハセルト百藥ノ長ト言フケレドモ、  
之ヲ百惡ノ長ト云フ反對ノ議論ガアルノデ  
アリマス、是ハ水掛け論デハナイノデ、酒  
掛け論デアリマス、無論是ハ一ツノ液體ノ  
問題デアリマスルカラ、議論ハ非ナリト思

頃發表ヲサレマンシタ主要食糧ノ現狀ニ即シテ考ヘテ見マシタ時ニ、昨日モ何處カノ委員會デ不安ナシト言ハレマシタケレドモ、只今ノヤウナ數百万石ノ米ヲ潰シテ、酒ヲ拵ヘナケレバナラヌト云フコトノ極致ヘ何處マデ行クノデアルカ、本米穀年度ノ非常ナ増収ト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、國民ハ主要食糧ノ不安ナキ心持ニ於テ、大變明朗ナ氣持デ年ヲ越シタノデアリマスルガ、本年ノ此ノ年初以來ノ氣候ノ調子ヲ考ヘテ見マスルト、或ハ本年ハ非常ナ凶作ニ襲ヘレルノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ見マシタ時ニ、米ヲ潰シテ酒ニスルト云フヤウナ、百數十万石ノ消化ト云フモノハ、主要食糧ノ生活其ノモノニ對シテ非常ナ脅威ヲ與ヘルノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、私ハ現在酒ノ必要論ヲ説キ、酒ノ必需品デアルト云フコトヲ説イテ居ル暇ガナインデハナイカト云フモノガ可能デアルカドマシテ、非常ニ慄然タラザルヲ得ナイノデアリマス、然ラバ酒ノ反對黨ガ説クガ如ク果シテ禁酒ト云フモノガ可能デアルカドウカ、或ハ禁煙ト云フモノガ可能デアルカドウカ、生活必需品デナイトカアルトカ云フコトノ論點ニ於テ、此ノ問題ハ分レルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、今度主要食糧ノ收穫ノ問題ニ即シテ考ヘテ見タ時ニ、愈々行詰ツタ時ニハ酒ノ如キハ、是ハ全廢ヲ致シ、何處マデモ主要食糧第一主義ニ徹シテ行カナケレバナラヌ時代ガ來ルノデハナイカ、サウ云フ不安ガ絶対ニナイトウシテモ禁酒ト云フコトガ出來ナイモノデ

ハナイ、愈々極致ニ達シマスルナラバ、禁酒ヲシテ行カナケレバ、ナラヌト云フ場面ニ到達スルデアラウト思フ、其ノ時ニ酒ノ稅金ガ八億數千万圓上ルカラト云ツテ、大藏當局ハ此ノ酒ノ稅金ノ問題ニ戀々トシテ、執著ヲシテ居ルト云フコトガナイカドウカ、昨日モ御話ガアリマシタケレドモ、「アメリカガ禁酒ト云フコトヲヤリマシタ實績ハ如何デアルカ、今ハ敵國ニアリマスケレドモ、敵國ト雖モ善政ニ付テハ吾々ハ無知デアツテハナラナイ、其ノ弊害ノ半面ヲ見ルト同時ニ、禁酒ヲ致シタ其ノ結果ハドウデアツタカ、其ノ實績ニ付テモ併セ考ヘテ見テ戴キタイト思フ、其ノ場合ニ大藏當局トシテ、此ノ稅金ノ面ヲ一擲シテマデモ、禁酒斷行ノ場面ニ到達シナケレバナラヌ運命ガ來タラバ、ドウ云フ態度ヲ執ラレルノデアルカト云フコトニ付テ、私ハ大藏大臣ニ是非トモ一ツ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマ

ト思フ、初メカラ習慣ガナケレバ、酒ノヤウナ氣付的ナ、效力ハ發揮出來ナクテ、或ル時、或ル場面ノ生産能率ハ落チルカモ知レナシガ、併シ全體トシテハ私ハ初メカラ習慣ガナイ方ガ非常ニ能率ガ上ルダラウト思フ、併シ今申シマシタヤウニ、現狀ハ何ト云ツテモ或ル程度ノモノハ要ルノデアリマス、ソレデ現在、酒、煙草ノ製造數量ヲ考ヘマス時ニ、財政收入ガドウナルカト云フコトニ依ツテ、之ヲ増加スルナドト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲルノハドウカ知リマセヌガ、私ハ前カラ酒ノ製造分量ヲ減スベシト云フコトヲ最モ强硬ニ唱ヘテ居ル、現在デモ「セクショナリズム」カラ考ヘテ、酒ヲ餘計造リタイ、稅ヲ餘計徵收シタイカラ造石數ヲ増スナドト云フコトハ全然考ヘテ居ナイ、煙草モサウデアリマス、煙草ノ耕作反別ヲ農林省ト交渉シテ少シデモ増シタイ、ソンナ馬鹿ナ考ヘハ絶對持ツテハイカヌ、寧ロ出來ルナラ減ジタ方ガ宜イ、御承知ノヤウニ本年ノ酒造石數ハ今主税局長ガ申シタヤウニ、前ヨリハ餘程減ツテ居リマス、是ハ今申上げタヤウニ兎ニ角現狀ニ於テハ或ル程度酒ガ必要ナ場面ガアル、ソレデ食糧全體ノ需給狀態ヲ綜合的ニ考ヘテ、アノ程度ニシヨウト云フコトヲ決メタノデアリマシテ、全然稅收入ノ方カラ之ヲドウスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、酒ガ少クテ濟ミ、煙草ガ少クテ濟ムコトヲ寧ロ欲シテ居リマス、私ハ一般ノ國民諸君ニ對シテ申シマスル時モ、煙草ガ少クナレバ煙草ノ賣上代ガ減ル、收入ガ減ルカラ大藏省ガ嫌フダラウト思フカ知ラヌガ、私ハ喜ブ、幾ラ煙草ノ利益率ガ多イト申シマシテモ、其ノ製造ニ要スル

所謂原價ト云フモノハアルノデアリマス、國民ノ資金蓄積ノ場面カラ申シマシテモ、國民全部ガ煙草ヲ飲マナイデ濟メバ、ソレダケノ蓄積ガ出來マス、是ハドンナニシテモ煙草ノ益金ヨリハ何ガシカ多イ、然ラバソレハ國民ノ資金蓄積ノ形デ、戰時財政ニ貢獻スルコトガ出來マセウ、又直接稅ノ稅源ヲ作ルコトニモナルノデアリマス、財政上カラ云ツテモ私ハ煙草ノ消費ガ減ルト云フコトハ大歓迎デアリマス、酒モ同ジデアリマス、是ハ酒稅、煙草ノ專賣益金ト云フ形ニ於テハ入リマセヌガ、別ニ入ル途ハソコニ幾ラモ講ゼラレマス、私ハ明日カラデモ日本中ニ酒ナシ、煙草ナシデ能率ガ上ルト云フナラ即座ニ贊成致シマス、煙草ニ於キマシテモ今年度ノ耕作反別ハ毫モ増加致シマセヌ、ノミナラズ共榮園内ニ於ケル煙草ノ需要ノ爲ニ、相當ノ葉煙草ヲ逆ニ内地カラ出ス譯デアリマス、ソレデ煙草ノ數量ハ、非常ナ需要增加ノ趨勢ニハアリマスルケレドモ増加ヲ致シテ居リマセヌ、專賣局益金ハ値上ヲセヌイデモ年々殖エルノデアリマス、ト申シマスノハ需要ガ非常ニ増加シテ、ソレニ應増加ノ趣勢ニハアリマスルケレドモ増加ヲ致シテ居リマス、ナゼカト申シマスルト、供給數量ハ増サナイ、製造原價ハ多少上ツテ來テ居リマスカラ、ソコデ益金ノ減ニナル、スウ云フコトガ出テ居リマス、只今ハ財政上稅ヲ取ルノニ都合ガ好イカラ、國家全體トシテハ不都合ナコトデモ、ソレヲ固執シヨウト云フヤウナ時デハ毛頭アリマセヌ、國民ガ煙草ヲ半分デ濟マセバ半分ノ耕作地、ソレニ使用スル肥料、農業勞力ト云フモノ、

ハ主要食糧ノ増産ニ大體向ケ得ルモノデア  
ル、サウスレバソレダケ南方カラ米ヲ運バ  
ナクテモ濟ム、其ノ輸送力ハ南方作戰ニ於  
テドレダケ日本ノ戰力ノ增强ニナルカ、是  
ハ煙草デモ酒デモ同ジヤウナ考ヘカラ、煙  
草、酒ノ節約卽戰力ノ增强ニナルノダト云  
フコトヲ自分モ信ジ、國民ニモ直接私ハ懇  
ヘテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、併シ現  
狀デハ相當ナ消費ト云フコトハ已ムヲ得ヌ、  
已ムヲ得ヌトスレバソレニ對シテ適切ナル  
事業費ヲ出ストカ、稅ヲ課ストカ云フヤウ  
ナコトハ又必要ナリト考ヘテヤツテ居ル次  
第デゴザイマス

結構デアリマスガ、儲テ本米穀年度ノ不足量ヲ考ヘテ見マシタ時ニ、私ハ國民トシテ又政府當局トシテモ斯クノ如キ心構ヘヲ持タザレバイケナイト云フ時期ニ到達シテ居リハシナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○賀屋國務大臣 本年ノ酒造米ニ約百三十万石ヲ充テマス時ニハ、昨年秋ノ内地ノ米作、又朝鮮ノ米作、ソレカラ麥其ノ外甘藷馬鈴薯等總テ主要食糧品ニ付テ全體ノ供給力及ビ需要ヲ勘案致シ必要ナル輸入、可能ナル輸入ト云フコトモ考ヘマシテ、全食糧計畫ヲ立テテ、其ノ上ニ約百三十万石ヲ酒ニ配當致シタモノデアリマス、現状ニ於テハ是ダケヘ酒ニ使ツテ差支ヘアリマセヌ、現状ニ於テハ御話ノヤウナ全面禁酒ヲスル必要ヘゴザイマセヌ、尙ホサウデアリマスルガ、重要ナ産業トシテ、先程仰セガアリマシタヤウニ、大キナ長イ自デ見レバ理想デハナイケレドモ、生産ノ現状カラ見レバ或ル程度酒ノ必要ノ部面ガアル、斯ウ云フ觀點カラソチラノ方ニ出來ルダケ多量ノ配給ヲスルト云フコトデアリマスカラ、ソレ以外ノ消費者ノ方面ヘ非常ニ節酒ヲスル、斯ウ云フコトハ只今ノ本年ノ酒造計畫カラ見マシテモ必要デアラウト思ヒマス

○小野(秀)委員 ソコデ私ハ此ノ酒、煙草ノ二重價格制ト云フコトニ付テ非常ナ疑問ヲ持ツ者デアリマス、ソレハ何デアルカト云フト、先程餘弊ト申シマシタガ、ドウモ人間ノ通弊ト致シマシテ、自分が或ル階級ニ入ツテ居ル者トシテ考ヘテ見タ時ニ、其ノ階級ノ謂ハバ特別ナ恩恵ト申シマズカ、其ノ階級ニ對スル國家ノ施策ノ恩恵ニ浸ルコトハ、一つハ其ノ階級ノ人間ノ非常ナ特權

ナルガ如ク考ヘマシテ、例ヘバ青年勞働者、未成年者カラ漸ク脱却シタ位ノ勞働者ガ、漸ク酒モ煙草モ飲メル年齢ニ達シタ、其ノ時ニ自分ガ重工業ノ工場ニ勤メテ居ルガ故ニ、安イ煙草モ喫メル、酒モ稅込デ安イ酒ガ飲メル、洵ニは有難イト思ツテ、今マデ酒ヲ飲ム性癖ノナイ者、斯ウ云フ若イ層ノ、ナンニモ免疫ニナツテ居ナイ立派ナ國民ノ基礎的ノ層ガ、ソレヲ非常ニ恩恵ナルガ如クニ考ヘマシテ、謂ヘバ是ハ嗜マナケレバ損ダト云フヤウナ氣持ガ起ツテ、サウシテ治タシテ此ノ弊風ガ國家ノ重大ナル産業ノ勞務者階級ヲ蝕ミツツアルト云フ現況ハ、御覽ニナツテ居ルカドウカ、私ハ、自分モ一ツノ重工業方面ノ會社ニ携ヘリマシテ、直接陣頭ニ指揮ヲシテ居リマスガ、動モスルトサウ云フ方ニ考ヘラマシテ、巷ヲ歩イテ見マシテモ青年勞働者ガ煙草ヲ喫シテ歩イテ居ル、或ハ醉拂ツテ、マダ家ニ歸ラナイ途ナドデ、非常ニ私ハ憂慮致シテ居リマス、私バカガアリマシテ、ソコデ酒ヲ飲ムコトヲ覺エ、煙草ヲ飲ムコトヲ覺エ、又金ヲ使フコトヲ考ヘル、ソレノミナラズ自分が收入ヲ得ル爲ニ家庭ノ中ニ於テ父母や長者ニ對シテ驕慢ナ態度ヲ執ル、是等ノ餘弊ニ付キマシテシタ際ニモ、斯ウ云フ階級ハ最モ生計費ノ負擔少クシテ勤勞收入ガアリマス、只今勤勞收入ガアツテ、假令軍需工業ニ從事シテ色々戦争ニ役立ツ軍需品ヲ造リマシタ場合デモ、得タ收入ヲ使ヘバ使フ程其ノ戦争ニ役立ツ效果ハ減殺サレテ行ク、一方ニ大砲ヲ造リ、飛行機ヲ造ツテモ、得タル收入ヲ皆使ヒマスレバ、ソレダケ地方ニ於テ資労力ヲ使用スルコトニナル、他方ニ於テ戰爭能力ノ蓄積集中ヲ害シテ居リマスカラ、ソレハ何等ノ貢獻モシナイト同ジグラウト思フ、サウ云フ見地カラ生計費ノ負擔ノ少い青年工、少年工ガ物質的ニ申シマシテモ、最モ之ヲ節約シテ貯蓄セシメル必要ガアル、其ノ方針ヲ確定致シテ居リマス、ソレハ少

ナルガ如ク考ヘマシテ、例ヘバ青年勞働者、未成年者カラ漸ク脱却シタ位ノ勞働者ガ、漸ク酒モ煙草モ飲メル年齢ニ達シタ、其ノ時ニ自分ガ重工業ノ工場ニ勤メテ居ルガ故ニ、安イ煙草モ喫メル、酒モ稅込デ安イ酒ガ飲メル、寧ロ或ル時ニ適當ニ飲マスコトガ能シテ、謂ヘバ是ハ嗜マナケレバ損ダト云フヤウナ氣持ガ起ツテ、サウシテ治タシテ此ノ弊風ガ國家ノ重大ナル産業ノ勞務者階級ヲ蝕ミツツアルト云フ現況ハ、御覽ニナツテ居ルカドウカ、私ハ、自分モ一ツノ重工業方面ノ會社ニ携ヘリマシテ、直接陣頭ニ指揮ヲシテ居リマスガ、動モスルトサウ云フ方ニ考ヘラマシテ、巷ヲ歩イテ見マシテモ青年勞働者ガ煙草ヲ喫シテ歩イテ居ル、或ハ醉拂ツテ、マダ家ニ歸ラナイ途ナドデ、非常ニ私ハ憂慮致シテ居リマス、私バカガアリマシテ、ソコデ酒ヲ飲ムコトヲ覺エ、煙草ヲ飲ムコトヲ覺エ、又金ヲ使フコトヲ考ヘル、ソレノミナラズ自分が收入ヲ得ル爲ニ家庭ノ中ニ於テ父母や長者ニ對シテ驕慢ナ態度ヲ執ル、是等ノ餘弊ニ付キマシテシタ際ニモ、斯ウ云フ階級ハ最モ生計費ノ負擔少クシテ勤勞收入ガアリマス、只今勤勞收入ガアツテ、假令軍需工業ニ從事シテ色々戦争ニ役立ツ軍需品ヲ造リマシタ場合デモ、得タ收入ヲ使ヘバ使フ程其ノ戦争ニ役立ツ效果ハ減殺サレテ行ク、一方ニ大砲ヲ造リ、飛行機ヲ造ツテモ、得タル收入ヲ皆使ヒマスレバ、ソレダケ地方ニ於テ資労力ヲ使用スルコトニナル、他方ニ於テ戰爭能力ノ蓄積集中ヲ害シテ居リマスカラ、ソレハ何等ノ貢獻モシナイト同ジグラウト思フ、サウ云フ見地カラ生計費ノ負擔ノ少い青年工、少年工ガ物質的ニ申シマシテモ、最モ之ヲ節約シテ貯蓄セシメル必要ガアル、其ノ方針ヲ確定致シテ居リマス、ソレハ少

ナルガ如ク考ヘマシテ、例ヘバ青年勞働者、未成年者カラ漸ク脱却シタ位ノ勞働者ガ、漸ク酒モ煙草モ飲メル年齢ニ達シタ、其ノ時ニ自分ガ重工業ノ工場ニ勤メテ居ルガ故ニ、安イ煙草モ喫メル、酒モ稅込デ安イ酒ガ飲メル、寧ロ或ル時ニ適當ニ飲マスコトガ能シテ、謂ヘバ是ハ嗜マナケレバ損ダト云フヤウナ氣持ガ起ツテ、サウシテ治タシテ此ノ弊風ガ國家ノ重大ナル産業ノ勞務者階級ヲ蝕ミツツアルト云フ現況ハ、御覽ニナツテ居ルカドウカ、私ハ、自分モ一ツノ重工業方面ノ會社ニ携ヘリマシテ、直接陣頭ニ指揮ヲシテ居リマスガ、動モスルトサウ云フ方ニ考ヘラマシテ、巷ヲ歩イテ見マシテモ青年勞働者ガ煙草ヲ喫シテ歩イテ居ル、或ハ醉拂ツテ、マダ家ニ歸ラナイ途ナドデ、非常ニ私ハ憂慮致シテ居リマス、私バカガアリマシテ、ソコデ酒ヲ飲ムコトヲ覺エ、煙草ヲ飲ムコトヲ覺エ、又金ヲ使フコトヲ考ヘル、ソレノミナラズ自分が收入ヲ得ル爲ニ家庭ノ中ニ於テ父母や長者ニ對シテ驕慢ナ態度ヲ執ル、是等ノ餘弊ニ付キマシテシタ際ニモ、斯ウ云フ階級ハ最モ生計費ノ負擔少クシテ勤勞收入ガアリマス、只今勤勞收入ガアツテ、假令軍需工業ニ從事シテ色々戦争ニ役立ツ軍需品ヲ造リマシタ場合デモ、得タ收入ヲ使ヘバ使フ程其ノ戦争ニ役立ツ效果ハ減殺サレテ行ク、一方ニ大砲ヲ造リ、飛行機ヲ造ツテモ、得タル收入ヲ皆使ヒマスレバ、ソレダケ地方ニ於テ資労力ヲ使用スルコトニナル、他方ニ於テ戰爭能力ノ蓄積集中ヲ害シテ居リマスカラ、ソレハ何等ノ貢獻モシナイト同ジグラウト思フ、サウ云フ見地カラ生計費ノ負擔ノ少い青年工、少年工ガ物質的ニ申シマシテモ、最モ之ヲ節約シテ貯蓄セシメル必要ガアル、其ノ方針ヲ確定致シテ居リマス、ソレハ少

先づ酒ニ付テ申上ゲマスルナラバ、年齢ヲ基調ニ致シマシテ、第一禁酒期間ヲ延長スル、例ヘバ満二十歳未満ノ未成年者禁酒法ノ範圍ヲモウ少シ延長致シテ、年齢ニ即シテ二十五歳トスル、或ハ又時間的ニ禁酒ヲヤル、午後五時以後デナケレバ飲ンデハナラヌト云フヤウナコトヲ益々擴大強化シマシテ、モウ少シ禁酒時間ヲ延長シテ、サウシテ時間ノ方カラ節酒ヲスル、ソレカラ所的ノ制限ヲ加ヘル、或ハ又配給的ニモ之ヲ合理化シテ行ク、配給的ノ合理化ト云フ問題ニ付キマシテハ、酒ニ付テモ業務用ヲ大分御減ラシニナツタノデアリマスガ、ドウカ之ヲ全部家庭へ御向ケラ願ツテ、或ハ業務者ノ所ヘ行ツテ飲ム場合ニヘ、酒券ヲ持ツテ行カナケレバ飲メナイト云フコトニシテ業務用ヲ全廢ナサレタラドウカ、是ハ配給的ニ場所的ニ聯關ヲシテ考ヘタ意見デアリマスルガ、此ノ點ニ付テ當局者ノ御見解ヲ承ツテ見タイ

草ノ割當ハ來ナイ、オ前ノ方デハ大變サウ  
云フモノヲ貰ヘテ結構ダラウガ、俺ノ方ニ  
ヘ來ナイノダト云ツタ、謂ハベ鶏ト卵ノヤ  
二重價格制ノ施策ニハ現ハレテ來ヤシナイ  
カ、何處マデモ之ヲ延長シテ行クト、ドレ  
モ是モ銃後ノ生産ニ從事シテ居ル者ハ中々  
甲乙ノ付ケ難イ生産過程ニ從事シテ居ルノ  
デハナイカト思ヒマス、サウ云フ時ニ此ノ二  
重價格制ト云フモノハソレ等ノ要求ニ對シ  
テ破綻ノ時期ガ來ルノデハナイカト、斯ウ  
思ヒマス、ソレデ寧ロ是ハ積極的ニ、逆ニ  
禁酒獎勵金ヲ與ヘテ、普通一般ノ酒代ヲ負  
ケルトカ稅ヲ負ケテヤルトカ、或ハ煙草ノ  
稅ヲ負ケテヤルトカ云フヤウナ一ツノ二重  
價格制ヲ採用セラレナイデ、寧ロ逆ニ禁酒  
獎勵金、禁煙獎勵金トカ云フモノヲソレ等  
ノ勞働者ニ交付スルト云フ形ニ持ツテ行ツ  
タ方ガ宜クハナイカト思フ、ソレカラ是ハ  
煙草ノ問題デアリマスルケレドモ、私ハ取敢  
ズ節煙ニ對スル一番效果的ノ問題ハ、時間  
的ノ問題デアリ、場所的ノ問題デアリマス  
ルケレドモ、是非トモ國有鐵道ノ中デ喫煙  
ヲスルコトヲ禁止シテ貰ヒタイト思ヒマス、  
若シ是レガ出來ナケレバ禁煙時間ト云フモノ  
ヲ設定シテ車掌ニ之ヲ監督シテ貰フト云フ  
コトニスレバ、恐ラク是ハ非常ナ節煙運動  
ニナルト思ヒマス、サウシテ又無駄ナ旅  
行ヲスル者モ多ク、無駄ナ旅行ヲスル者  
ガ各期間アタリノ汽車ノ中デ煙草ヲ濛々ト  
フカシテ喫煙ヲセナイ者ハ實ニ迷惑千萬デ  
アル、而モ有閑階級ノ旅行ヲスル者ハ餘計  
煙草ヲ吸フノデス、アア云フ者ヲ時間的ニ  
又場所的ニ制限ヲシテ、汽車ノ中ナドデ節

煙斷行ヲサセルト云フコトガ最モ必要デヤ  
ナイカト思ヒマス、昨日來此ノ委員會デ熱  
心ニヤツテ居リマスガ、煙草ノ好キナ方モ  
斯ウシテ緊張シテ居ラレバドナタモ煙草  
ヲ吸ツテ居ラレナイ、私ハ是ハ出來ルノデ  
ヤナイカト思ヒマス、斯ウシタ方法ニ付キ  
マシテ本當ニソレ等ノコトニ御考へ及ンダ  
場合ノコトマデ想到致サレマシテ、適切ナ  
御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

ト思フ、サウデナクシテヤハリ一般ガ是ゾコニハ虔マシヤカナル心持ヲ産業戦士ノ方モ持ツテ貰ヒタイ、唯權利的ニ是ダケ來タカラ是ダケ頭割ニ配給スルト云フ者ヘデナク、ソレ等ノ團體指導者等モ適切ニ此ノ配給ノ運用ヲヤツテ貰ヒタイモノダトシテ貴フト云フ爲ニ分量ヲ餘計ヤルト云フ特配ガアリマシタ、今回所謂二重價格制ヲヤリマスト、價格ノ特配ト云フモノガ新タニ起ル譯デアリマス、是ハヤハリ同ジ層ガ兩方ノ對象ニモナリマセウガ、事柄ハ全くな違フノデアリマス、別ノ問題デアリマス、數量特配ガアルカラ同時ニソレガ價格特配カト言ヘバ、私ハサウヘ行カヌト思ヒマス、而シテ數量特配デモ此處ニ數量ヲ餘計出シテ、ソレニ似タヤウナモノニマルデ出サヌ、其ノ間ノ均衡論ト申シマスカ、サウ云フ場面ハ既ニアリマスノデ、價格特配デモ無論サウグラウト思ヒマス、併シ是ハ配給ト云フコトヲヤリマス上ニ於テハ、ドウシテモノソコニハ區別ヲ設ケマスルト、其ノ區別ガ實際ニ適切ナヤウニハ運ンデ居ツテモ、ソニー一ツノ段ガ付クト云フコトハ是ハ已ムヲ得ヌ問題デアリマス、其ノ段ノ付キヤウガ惡ケレバ、御詫ノヤウニ其ノヤリ方、制度ト云フモノハ破綻ヲ起ス譯デアリマス、併シドンナニ上手ニヤリマシテモ全然ソコガ平坦ニ行クカト言ヘバサウヘ行キマセス、是ハ斯ウ云フコトデ申上ゲテ宜イ

力悪イカ分リマセヌガ、學校デ五十點以上  
ガ及第デ、四十九點カラ落第トスレバ、一  
點ニノ差デ及落ガ起ルヤウナコトガドウシテ  
モ凡ニル場面ニ起リマシテ、ソコダケカラ  
見レバ不自然ナヤウデアリマスガ、或ル場  
合ニハ已ムヲ得ヌト思ヒマス、或ル程度ハ  
ソコラハナダラカニシテ行クコトガ必要ト  
思ヒマス、ソコデ先ヅ酒、煙草ノ配給ニ付  
キマシテハ政府側ニ於キマシテモ、需要側  
ヲ代表スルト言ヒマスカ、農林省下力商工  
省方面、或ハ一般的ニ見マスルト内務省ノ  
方面、各方面寄リマシテ、是ハ數量ノ配給  
ニアリマスガ、業務用ニドノ位出ス、家庭  
用ニドノ位出ス、又特配ヲドウスルト云フ  
相談ヲ致シテ居リマス、今回家庭ノ特配ニ  
付キマシテモ、ドノ範圍ニドノ程度ニ家庭  
特配ヲスルカ、百人居レバ何石ト云フモノ  
ガ機械的ニ行クト云フ譯ニモ行カヌト思ヒ  
マス、是モ重點的ニ行ク所モアリ、特配ガ  
重點的ニ行クケレドモ其ノ間ニ稀薄ガアリ、  
無論受ケナイ所ガ多イノデアリマスガ、サ  
ウ云フ所ヲ成ベク實情ニ合ヒマスルヤウニ  
協議ヲシテ參りタイト考ヘテ居リマス、尙  
ホ禁煙禁酒ノ獎勵金ノ如キモノモ一つノ御  
考ヘカト思ヒマスガ、只今之ヲ直グ實行ス  
ルカドウカト云フ點ニハマダ色々研究ヲ要  
スルト思ヒマス

○小野(秀)委員 只今ノ御説明デ能ク分リ  
マシタガ、私ノ申スノハ廢メルト云フ問題デ  
ハナイノデアリマシテ、切符制ヲモツト合  
理化シテ、若シ料理屋ニ行ツテ飲ムトカ  
待合ニ行ツテ飲ムトカ云フヤウナ必要ガア  
ツタ場合ニハ、配給券ヲ持タズシテハ飲ヌ  
ナイト云フヤウナコトニシタラドウカト云  
フ質問デス

○賀屋國務大臣 速記ヲ止メテ戴キマス

○松村委員長 速記中止

○松村委員長 速記開始

〔速記中止〕

○松村委員長 速記中止

○松村委員長 速記開始

○小野(秀)委員 ソレカラ只今私ハ禁酒或  
ハ節煙、禁煙ノ斷行ノ問題ニ付テ、既ニ飛躍  
的ノコトマデ考へテ居リマスルケレドモ、  
ソコマデ極端ニヤルト云フコトハ或ハ今日  
ノ現況デドウカト思フ、殊ニ私ハ故ラ此ノ  
主張ニ對スル除外例ヲ特ニ強調致シテ置キ  
タイ、ソレハ第一線ノ現地ニ働イテ居ル將  
兵ノコトデアリマス、是ハ私ハ絶對ニ制限  
ナド望ムコトハ問題ニナラヌ、一昨日ノ戰  
況報告ニ鑑ミマシテモ、モウ明日ノ生命モ  
測ラレナイト云フヤウナ第一線ノ將兵ニ對  
スル制限的ノコトハサラ━考ヘテ居リマ  
セヌカラ、此ノ點ハ辯明ヲ致シテ置キマス  
ソレカラ尙ホ一ツ御見解トシテ承ヌテ置キ  
タイコトデアリマスルガ、昨日有馬君ノ御  
話デハ、形容詞ト承レバ結構デアリマスケ  
レドモ、酒ハ寧ロ必需品デアル――寧ロト  
云フ字ガ入ツテ居リマシタカラ形容詞ト私  
ハ思ツテ居リマスガ、必需品ト云フ考ヘ方  
ハ是ハドウカト思フ、ソコデ酒、煙草ト云  
マヌデモ生ギテ居ルト云フ現狀カラ考ヘテ

○賀屋國務大臣 必需品ト云フ言葉ガ實ハ  
分ツタヤウデ分ラヌ所ガアリマス、私モ國  
民生活ハ健康ヲ維持シ、必要ナル休養ヲ取  
ル、ソレデアトハ何モ要ラヌカ、一年ニ映  
畫ヲ一遍見ニ行クノモ要ラヌカト言フト、  
ココラガ問題デ、人ニ依ツテハ全然行カヌ  
デモ濟ム人モアリマセウ、併シ國民全體カ  
ラ言ヒマシテ、左様ナラバ映畫館ハ全部禁  
止シテ、アノ建物ヲ他ニ使フ、ココマヂ行  
クカト申シマスト、ヤハリソコニハ何ガシ  
カ考ヘナケレバナラヌ所ガアル、戰爭ノ要  
請ガ強クナレバ強クナル程、サウ云フモノ  
ハ段々ニ少クナツテ行クベキ性質デアリ  
マスガ、考ヘナケレバナラヌ點ト思ヒマス、  
ソレカラ善カレ惡シカレ現場ニ於テ勞働ニ  
從事スル人ガ、非常ニ働くマシタヤウナ場  
合ニ酒ヲ欲スル、欲シテソコデ或ル程度ニ  
ツツマシヤカデモソレヲ満足シテ行クコト  
ガ又次ノ活力ヲ養フ、斯ウ云フ方面ヘ今申  
上ゲマシタ映畫ナドヨリモ尙ホ明カニ現場  
ニ於テノ事實デアリマスカラ、サウ云フ必  
要ガアルト云フコトハ考ヘラレマス、一般  
的ニ生活必需品トハ何ゾヤ、斯ウ云フコト  
ニナリマスト、ソレハ酒ガナクテモ無論生  
キテ行クコトニハ差支ヘナイノデアリマス  
カラ、必需品ト云フモノヲサウ限定スレバ、  
無論御話ノヤウニ是ハ必需品デヘアリマセ  
ヌガ、兎ニ角今ノ社會、戰爭シテ行ク上ノ  
許シ、而シテアル方ガ能率ガ上ルカラ必要  
見マスレバ、大藏大臣ニ於ケレマシテハ酒  
煙草ト云フモノハ必需品デナイト云フ御考  
ヘヲ持タレテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ最後  
ニ一言御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○小野(秀)委員 敷々ノ御答辯ヲ戴キマシテ、洵ニ穩健適正ナル大藏大臣ノ御答辯ニ  
私ハ非常ニ満足スルノデアリマス、願ハク  
ハ此ノ御方針デ、酒、煙草ノ稅ノ増徵、其ノ  
ノ他ノ施策ニ付テ國家ノ爲ニドウカ御考ヘ  
アランコトヲ、將來ニ向ツテ希望シテ私ノ  
質問ヲ終リマス

○松村委員長 河野君

○河野(密)委員 戰時財政ノ根本ノ問題ニ  
付テ、十分バカリ時間ヲ拜借致シマシテ、  
私ノ質問ノ補足ヲ致シタイト思ヒマス、昨  
日大臣ノオ見エニナラナイ席上デ、主稅當  
局カラ御答ヘテ戴イタノデアリマスガ、ソレ  
ヲ決シテ満足シナイトカ云フ意味デハゴザイ  
マセニカラ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ソレ  
今度ノ增稅案ヲ拜見致シマシテ、誰デモ感  
ズルコトハ、間接稅ノミノ増徵デ宜シイダ  
ラウカ、斯ウ云フコトデアルト思フノデア  
リマス、ソコデ昨日モ御尋ねシタノデアリ  
マスガ、賀屋大藏大臣ガ御就任ニナツテカ  
ラ、今度デ三遍目ノ增稅デアリマス、昭和  
十六年ノ十一月ニ間接稅ノ増徵ヲナサレ、  
又昭和十七年ノ通常議會ニ直接稅ノ増徵ヲ  
ナサレ、今度間接稅ノ増徵ヲナサル、大體  
間接稅ノ方面デ十六七億ノ增稅、直接稅ノ方  
面デ十億ノ增稅、斯ウ云フ數字ニナツテ居  
ルノデアリマスガ、其ノ理由トシテ常ニ消  
費ノ抑制、購買力ノ吸收ヲ圖ルト云フヤウ  
ナ意味デ間接稅ノ増徵ヲナサツテ居リ、財政ノ  
基礎ヲ固メルト云フコトヲ主眼トシテ直接稅  
ノ増徵ヲナサツテ居ル、斯ウ云フ御方針カ  
テ居リマス

抑制シ、購買力ヲ吸收スルト云フコトノ爲ニ  
ハ、間接稅ヲ以テ妥當トスルト云フ考へ方ガ  
アルノデヤナイカ、サウ云フ考へ方ガアル  
トスルナラバ、是ハ吾々ト見解ヲ異ニスル  
ノダ、斯ウ云フ點ヲ昨日御尋ネシ、又大臣  
ニ質シタイト思フ一點ナノデアリマス  
ソレカラ今度ノ豫算ヲ拜見致シマスト、  
一般會計ガ九十九億九千五百餘万圓、特別  
會計ガ二十三億何ガシ、臨時軍事費ハ分リ  
マセヌガ、昨日ノ中村君ニ對スル御答辯ノ  
中デ、大藏大臣ハ昨年ヨリハ遙カニ多クナ  
ル、斯ウ云フ風ニ述ベテ居ラルノデアリ  
マス、サウシマスト此ノ三本ノ豫算ヲ通ジ  
テ考へテ見テ、總額ガ幾ラニナリ、公債ノ  
發行額ガドノ程度ニ上ルカト云フコドヲ睨  
合ハセテ、増稅ト云フヤウナコトモ考へテ  
見ナケレバナラナイト思フノデアリマス、  
平年度十一億四千餘万圓ノ此ノ增稅ト云フ  
モノハ、其ノ全體ノ豫算ト睨合ヘセ、公債  
發行ト睨合ハセタ場合ニ、ドウ云フ意味ヲ  
持ツノデアルカ、公債利子ヲ增稅ニ依ツテ  
賄フ、斯ウ云フ御趣旨ニ置イタモノデアル  
カ、單ニ漠然ト公債モ殖エルコトデアリ、  
國費モ殖エルコトデアルカラ增收ヲ圖ル、  
斯ウ云フ意味合ヒニ於テ漠然ト御出シニナ  
カ、ナイトアルカドウカ、斯ウ云フコトヘ  
は餘程重大ナ問題デアラウト思フノデア  
リマス、全般ノ豫算ト睨合ハセタ上デ考へ  
ナイト、增稅ノ際ニ於ケル大藏大臣ノ説明、  
或ハ本豫算ヲ本會議ニ掛ケラレタ場合ニ於  
ケル大藏大臣ノ説明ト云フコトダケデハ、  
ドウモ其ノ點ニ於ケル納得ガ行カナイヤウ  
ニ思フノデアリマス

居ラレル、先般本會議ニ於ケル同僚小野議員ノ質問ニ對シマシテ、國家收入ト云フコトバカリ考ヘテハイケナイノダ、戰時生產力ノ増強、斯ウ云フコトモ睨合ヘセテ考ヘ是ハ洵ニ御尤モナコトデアリマスガ、財政ト經濟行政トノ調和ト云フコトヲ考ヘタ場合ニ於キマシテモ、是ハ必ズシモノ一般ノ議論トハ申シマセヌガ、巷間ニ於テモ、今少シク大藏大臣ガ源泉ニ於テ購買力ト云ヒマスカ、民間ニ浮動スル資金ヲ吸收スルト云フ方針ヲ御執リニナル方ガ宜イト云フ意見ガ相當ニ強イ、資金ガ一般ニ潤澤ニ廻ツテ居ツテ、消費ノ面ニ於テ之ヲ規正スルト云フコトハ非常ニ困難デアリマシテ、動モスレバソレガ闇取引ノ原因トナリ、種々ナル思ハザル方面ニ波及スルコトハ御承知ノ通リデアリマス、其ノ點ニ於テモウ少シ抜本塞源的ナモノガ欲シイモノデアルト、斯ウ云フコトニ付テハ、是ハ相當有力ナ筋ニモ考ヘテ居ラレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御尋ネシタイトノデアリマス

今一つノ點ハ生産増強ト戰時財政ノコトデアリマスガ、生産増強ノ點ニ付テ戰時財政ノ方面ニ於キマシテ、色々御考慮ニナツテ居ルコトモ承知シテ居リマスガ、現ハレテ居ル所ニ依リマス、生産増強ノ資金トシテ四億八千餘万圓ト云フモノガ説明ニナツテ居リマスガ、方々ニ散在シテ居ル商工省所管、或ハ色々ナ方面ヲ合ハセルト、私ハモツト巨額ニ上ルモノト思ヒマスガ、其ノ全貌ニ付テドノ位ノ金ヲ御考ヘニナツテ居ルノカ、之ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス

ソレカラ昨日ノ豫算總會デ、是モ中村君

ニ御答へニナツタ中デ稍ハツキリシテ居リマスガ、今度ノ行政特例法案、其ノ運用デアリマスガ、アノ中ニハ資金、資材、勞務ト云フヤウナコトデアリマスガ、其ノ資金スル運營モ含マレテ居ルモノト思ヒマスガ、サウ云フ意味ニ解釋シ、其ノ意味ニ於テ豫備金ニ付テ本年ハ八億ト云フモノヲ計上ニナツテ居ルノデアルカドウカト云フ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 購買力ノ吸收ハ間接稅固ヨリデアリマスガ、直接稅モ購買力ノ吸收ニナル、結局吸收ノ程度ニ付キマシテハ、稅額ノ増加ノ問題デアリマスガ、一様ニ考ヘテ居リマス、唯間接稅ニ付キマシテ特に申上ゲマスルノハ、先般モ他ノ委員ノ御質問ノ時ニ申上ダマシタガ、支那事變以來ノ間接稅ノ發達ノ傾向ハ、單純ナ稅收入ヲ得ルト云フモノヲ考ヘ、消費ノ方向ニ考ヘテ、課稅ノ施策ヲ執ツテ居ル、此ノ意味ニ於テ間接稅ノ場合ニハ其ノ意味ガ自然強調サレル、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス

尙ホ財政全般ト增稅トガドウナルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ實ハ中々サウヘ行カナイ、增稅計畫ヲ立テマス時ヘ、細カテイ研究デアリマスカラ、夏カラ秋ニ掛ケテデアリマス、臨事軍事費ハ戦爭ノ状況ニ依ルノデアリマスカラ、ドウシテモ決メルノハ今頃デアリマス、結果カラ見テアナタ方ノ前ニ出ルノハ一緒ニ出マスガ、實際ニハ迎モ一緒ニナリマセヌ、增稅ヲ考ヘル時期トハ非常ニ月數ノ距リガアリマス、是ハ時間的ニ戦争其ノモノガサウ云フモノナンデアリマス、全體ヲ通ジテ何割ト云フヤウナ

平均ノ施設ニハ迎モ參リマセヌ、私ハ前か  
シテモ此ノ割合デ行カナケレバナラスト云  
フコトハ考ヘマセヌ、稅ハ善イ意味ニ於テ  
徵收出來ルダケ徵收スルノダ、ソレ以上徵  
收シナイ方ガ宜シイ、ソレ以上進マナイ、  
其ノ爲ニ全體ノ歲入ノ中ノ歩合ガ少々ドウ  
ナツテモソレハ私ハ重キヲ置カヌ、全體ニ相成  
國民生活、國民ノ經濟力デヤル、是デ行ク  
考ヘデアリマス、實際今ノ稅制ヲ考ヘ、豫  
算ヲ編成スル時期ト云フモノハ二様ニ相成  
リマスルノデ、實際ニ於キマシテモサウシテ  
カク行クト云フ譯ニハ參リマセヌ、勿論今  
年ノ稅收入ノ總額ハ、煙草ノ專賣益金ト増  
稅ハ十五億八千万圓デアリマスカラ、本年  
度ニ於テ增加シマスル公債ノ利子ヨリハ遙  
カニ高クナリマスガ、是ハ利子ヲ目途ト致  
シテ居リマス譯デハ勿論アリマセヌ、直接  
稅ノ增稅モ勿論度々考ヘテ居リマシテ、河野  
野委員其ノ他ノ御質問ノ時ニモ申上ゲマシ  
タヤウニ十分考ヘテ居リマス、今年ハ色々々  
ナ觀點カラ先ヅ休ム、來年カラドウナルカ  
分リマセヌガ、サウ云フヤウナ考ヘデ居ル  
次第デアリマス

其ノ觀點ハアトハ稅ト公債ノ分配ヲドウスルカト云フ問題ニナルノデアリマス、元カラ取ルノハ直接稅ガ一番早イ譯デアリマス、又貯蓄ニシマスレバ給料其ノ他ノ支出ノ際ニ之ヲ取ルノデアリマス、ソコハ十分ニ留意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘデヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

○河野(密)委員 戰時特例ノ問題ニ付テ……

○賀屋國務大臣 是ハ色々アリマスガ、資金ノ必要ナモノハ權限デ何處マデモ集メテ參ツテ居リマス、唯問題ハ政府資金ハドウナルカ、是ハ豫備金支出デヤル、豫備金支出ハ何デヤル、是ハヤハリ大藏大臣ガヤル

ト云フコトニナリマス、ソレハ資金ノ豫算的方面デアリマス、恐ラクサウ云フコトニラアルダラウト思ツテ居リマス、豫算ヲ組ム意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘテヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

○河野(密)委員 戰時特例ノ問題ニ付

○賀屋國務大臣 是ハ色々アリマスガ、資金ノ必要ナモノハ權限デ何處マデモ集メテ參ツテ居リマス、唯問題ハ政府資金ハドウナルカ、是ハ豫備金支出デヤル、豫備金支出ハ何デヤル、是ハヤハリ大藏大臣ガヤル

ト云フコトニナリマス、ソレハ資金ノ豫算的方面デアリマス、恐ラクサウ云フコトニラアルダラウト思ツテ居リマス、豫算ヲ組ム意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘテヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

○賀屋國務大臣 是ハ色々アリマスガ、資金ノ必要ナモノハ權限デ何處マデモ集メテ參ツテ居リマス、唯問題ハ政府資金ハドウナルカ、是ハ豫備金支出デヤル、豫備金支出ハ何デヤル、是ハヤハリ大藏大臣ガヤル

ト云フコトニナリマス、ソレハ資金ノ豫算的方面デアリマス、恐ラクサウ云フコトニラアルダラウト思ツテ居リマス、豫算ヲ組ム意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘテヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

○賀屋國務大臣 是ハ色々アリマスガ、資金ノ必要ナモノハ權限デ何處マデモ集メテ參ツテ居リマス、唯問題ハ政府資金ハドウナルカ、是ハ豫備金支出デヤル、豫備金支出ハ何デヤル、是ハヤハリ大藏大臣ガヤル

ト云フコトニナリマス、ソレハ資金ノ豫算的方面デアリマス、恐ラクサウ云フコトニラアルダラウト思ツテ居リマス、豫算ヲ組ム意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘテヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

○賀屋國務大臣 是ハ色々アリマスガ、資金ノ必要ナモノハ權限デ何處マデモ集メテ參ツテ居リマス、唯問題ハ政府資金ハドウナルカ、是ハ豫備金支出デヤル、豫備金支出ハ何デヤル、是ハヤハリ大藏大臣ガヤル

ト云フコトニナリマス、ソレハ資金ノ豫算的方面デアリマス、恐ラクサウ云フコトニラアルダラウト思ツテ居リマス、豫算ヲ組ム意ラシテヤツテ居リマス、唯私ガ申上げタノヘ源泉カラ取ル、強制デ取ルモノハ、例ヘバ本年度ニ於テ租稅ト貯蓄デ約三百億デアリマスガ、一番大事ナノハ三百億ニ近イ所デアリマス、ソレヲ強制デ取ル、源泉デ取ルト云フコトハ不可能デアリマス、是非常ナ摩擦ガ起リマス、體系的ニハツキリ茲ニ形式的ニソレヲ確保シヨウト思フト、ソレハ三百億ノ一番根ニ近イ方ガサウナス、ソレハ樂ニ出來ルカ、是ガ一番大事デス、三百億ニ近イ所ノ五十億トカ三十億ガ出來ルカ出來ヌカト云フ、此ノ計算ガドウナルカト云フコトガ大事ナ所デアリマス、ソレハ決シテ強制ナド出來ルモノデハアリマセヌ、デスカラ私ハ其ノ點ハ割合ニ樂ニ考ヘテヤツテ居リマス、現在モ、又私ガ前ニ大藏大臣ヲヤツテ居リマシタ時カラ其ノ考ヘデ出發致シマシタ、途中ノ當局者モ同じ考ヘテヤラレタト思ヒマスガ、大體是ハ五箇年半ヤツテ見テ、當ツテ居ルト言ヘルノデアリマス、今後益々此ノ方針デヤル、唯ヤリ方ハ益、實際ニ合フヤウニ強クシテ行キタイト思ツテ居リマス

ハ、一寸只今數字ガアリマセヌカラ調べテ  
御答ヘヲ申上ゲマス酒屋ノ整理ノ問題ハ此  
ノ内閣ニナリマシテ、從來ノ整備方針ヲ適  
切ニスルヤウニ閣議デ決定ヲ致シマシテ、  
ソレデ從來ト變ツテ居ルノデアリマス、ソ  
レハモウ明瞭ニ各關係地方「ブロック」ニ通  
ジマシテ、實行シテ居リマス從來ノ概念的  
直ヶ會社ヲ持ヘルト云フ方法ハイカスト云  
ツテ止メサセタ、併シソレデ旨ク落付イテ  
居ル所ハモウ強ヒテ變ヘヌデモ宜イガ、一  
般的ニハアノ觀念デヤリマスト、酒屋ハ千  
軒ニ對シテ何處デモ一軒ニスルト云フヤウ  
ナ、馬鹿々々シイ抽象觀念デヤツテ居ツタ  
所モアリマスノデ、ソレヲスツカリ變ヘサ  
シテヤルコトニ致シタノデアリマス

○河野(密)委員 大體中小商工業者ノ整備

統合ニ、政府ハドノ位ノ資金ヲ使フ積リデ

居ラレマスカ、其ノ概算ハ分ラナイノデス

○松隈政府委員 只今御話ノ中小商工業者

ノ轉廢業ノ爲ノ全體ノ豫算額ニ付キマシテ

ハ、後程資料ヲ調べマシテ御答ヘ申上ゲタ

イト思ヒマス

○河野(密)委員 私ハ是デ宜シウゴザイマ

ス

○松村委員長 ソレデハ暫時休憩致シマシ

テ、午後一時半カラ再開致シマス

午前十一時四十分休憩

午後一時三十六分開議

○田中(勝)委員 消費ノ抑制ト購買力ノ吸

收ヲ圖ル爲ニ今回増稅ヲセラレルト云フコ

トニ付キマシテハ、私等トシテモ沟ニ時宜

ニ適シタコトデアルト思ヒマス、サウ云フ風ナ無理ヲ

議論モアリマシタヤウニ、唯是ハモウ少シ

私等ト致シマシテハ高度ノ增稅ヲヤラレル

方ガ至當デナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマ

ス、政府ニ一ツ御尋ネ申上げテ見タイコト

ハ、購買力ノ吸收ト消費ノ抑制ニ對スル對

策ト致シマシテ、貯蓄ノ獎勵ヲ非常ニオヤ

リニナツテ居リマス、ソレデ茲ニ公債ノ消

化ト云フ問題モアルノデアリマスガ、此ノ

公債ヲ發行サレマス場合ノ其ノ消化ノ方法

ト致シマシテ、從來デハ部落ニ割當ヲ以テ

之ヲ消化シテ居ルト云フヤウナ實情デアリ

マス、併シナガラ其ノ公債ノ消化率ハ、私

等ノヤウナ田舎ノ者カラ見マスト、極メテ

是ハ良好ニ行ツテ居ル事實ヲ知ツテ居リマ

スガ、其ノ半面農家等ニ於キマシテハ、政

府ノ發行サレテ居ル公債ハ、之ヲ買ハナケ

レバ日本ガ負ケルノダト云フ考ノ下ニ相當

力強ク協力シテ買ツテ居リマスガ、其ノ半

面、一面負債ヲ負ウテデモ買フト云ツタヤ

ウナ面ガアルノデアリマス、此ノ面ヲ私ハ

用組合等ニ於キマシテノ負債ハ減ツテ居リ

マセヌ、ソレカト云ツテ農民ノ所得ト云フ

モノハ相當殖エテ居リマス、デアリマスカ

ラ公債ノ消化力モ相當アルノデアリマスケ

レドモ、之ヲ續ケテ參リマスト相當心配ナ

ニアルニモ拘ラズ二十圓十五圓ト云フ公債

ハ皆割當ニ依ツテ買ツテ居リマス、一面ニ

キタイト思ヒマス、主トシテ隣保消化デアラ

マスルコトヲ極ク簡単ニ御答ヘ申上ゲテ置

政府委員カラ御答ヘスルコトガ適當デアラ

ウト思フノデアリマシテ、私ノ考ヘテ居リ

シテ居ル所デハゴザイマセヌノデ、他ノ

コトガアルカモ知ラヌケレドモ、資金ノ餘

裕ノアル限リハ公債ヲ買ツテ戴キタイト云

フヤウナ方法ヲ以テ勸メテ居ルヤウデゴザ

イマス、御話ノヤウニ所得ノ階級ニ依ツテ

何段階カニ分ケテ、一定割合ハ法律デ強制

的ニ持タセルト云フコトニ進ムベキカドウ

カト云フコトモ、丁度賣ラセナイヤウニシ

テ持タセルヨリモ、已ムヲ得ナイ場合ニハ

賣ツテモ仕方ガナイト云フ風ニシテ持タセ

ル方ガ消化ノ率ガ宜シイノト同ジデアリマ

ハドウカト思ヒマス、サウ云フ風ナ無理ヲ

セヌデモ、所謂戰時景氣トデモ云フヤウナ

面モアリマスノデ、相當政府ノ軍需方面ニ使

ハレル所ノ資金モ潤澤ニアルノデアリマス

カラ、此ノ方面ノ所得ト云フモノハ相當ニ

多額ニ上ツテ居ル人ガアルト思ヒマス、斯カ

ル所謂戰時ニナツテカラ急ニ所得ノ殖エタ

ト云ツタヤウナ面ノ人ニ相當ノ公債ヲ買ツ

テ戴クコトガ極メテ私ハ必要ダト思ヒマス、

ソコデ是ハ政府ト致シマシテ、相當高額ナ

所得者ニ對シマシテハ何カ特別ナ公債購入

ノ途ヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカト云フ

マス、併シナガラ其ノ公債ノ消化率ハ、私

等ノヤウナ田舎ノ者カラ見マスト、極メテ

是ハ良好ニ行ツテ居ル事實ヲ知ツテ居リマ

スガ、其ノ半面農家等ニ於キマシテハ、政

府ノ發行サレテ居ル公債ハ、之ヲ買ハナケ

レバ日本ガ負ケルノダト云フ考ノ下ニ相當

力強ク協力シテ買ツテ居リマスガ、其ノ半

面、一面負債ヲ負ウテデモ買フト云ツタヤ

ウナ面ガアルノデアリマス、此ノ面ヲ私ハ

用組合等ニ於キマシテノ負債ハ減ツテ居リ

マセヌ、ソレカト云ツテ農民ノ所得ト云フ

モノハ相當殖エテ居リマス、デアリマスカ

ラ公債ノ消化力モ相當アルノデアリマスケ

レドモ、之ヲ續ケテ參リマスト相當心配ナ

ニアルニモ拘ラズ二十圓十五圓ト云フ公債

ハ皆割當ニ依ツテ買ツテ居リマス、一面ニ

キタイト思ヒマス、主トシテ隣保消化デアラ

マスルコトヲ極ク簡単ニ御答ヘ申上ゲテ置

政府委員カラ御答ヘスルコトガ適當デアラ

ウト思フノデアリマシテ、私ノ考ヘテ居リ

シテ居ル所デハゴザイマセヌノデ、他ノ

コトガアルカモ知ラヌケレドモ、資金ノ餘

裕ノアル限リハ公債ヲ買ツテ戴キタイト云

フヤウナ方法ヲ以テ勸メテ居ルヤウデゴザ

イマス、御話ノヤウニ所得ノ階級ニ依ツテ

何段階カニ分ケテ、一定割合ハ法律デ強制

的ニ持タセルト云フコトニ進ムベキカドウ

カト云フコトモ、丁度賣ラセナイヤウニシ

テ持タセルヨリモ、已ムヲ得ナイ場合ニハ

賣ツテモ仕方ガナイト云フ風ニシテ持タセ

ル方ガ消化ノ率ガ宜シイノト同ジデアリマ

ハドウカト思ヒマス、サウ云フ風ナ無理ヲ

セヌデモ、所謂戰時景氣トデモ云フヤウナ

面モアリマスノデ、相當政府ノ軍需方面ニ使

ハレル所ノ資金モ潤澤ニアルノデアリマス

カラ、此ノ方面ノ所得ト云フモノハ相當ニ

多額ニ上ツテ居ル人ガアルト思ヒマス、斯カ

ル所謂戰時ニナツテカラ急ニ所得ノ殖エタ

ト云ツタヤウナ面ノ人ニ付キカドウ

ト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシ

テ、只今御話ノアリマシタヤウナ戰時下ニ

夫ヲ凝ラシマシテ、所得ノ多イ方面ニ餘計

ト云ツタヤウナ面ノ人ニ付キマシテ、所得ノ多イ方面ニ餘計

シテ、法律ヲ以テ強制スルト云フコトニナリマスルト、諸種ノ條件ヲ考慮スル結果、結局割當額ノ餘リ多キヲ望ミ得ナイ、ソレハ強制ニ近イコトヲスルケレドモ、法律ヲ以テハ強制シナイ、此ノ方ガ結局多額ノ公債ヲ國民ニ持ツテ貰フ所以デアラウト、斯様ヲ考ヘテ政策ガ執ラレテ居ルヤウデゴザイマス、唯其ノ場合ニ於テ法律デアリマセヌ爲ニ標準等ガキント決マツテ居リマセヌ、隨テ各隣組或ハ地方々々ニ於ケル手心ニ比較的緩ヤカナ所ト嚴シイ所トガアリマシテ、出來レバ或ル標準ヲ設ケテ、法律ニハ依ラナイケレドモ無理ガ行カズ、出ルダケ消化ヲサシテ行クト云フ風ニ向ケテ行クコトニ研究ガ進メラレテ居リマスノデ、御意見ノ點ハ能ク承リマシテ關係方面トモ協議スルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○田中(勝)委員 只今ノ御話ヲ承リマシテ私モ満足ニ思ヒマス、強制ヨリカ自覺ニ俟ツテヤツタ方ガ效果が多イヤウダト申サレマス點ハ私モ同感デアリマス、就キマシテハ、此ノ公債ヲ消化サレル上ニ於キマシテ、特ニ現在各地ニハ翼賛壯年團アタリガアリマスノデ、是等ヲ大動員シテ其ノ效果ヲ舉ゲルト云ツタヤウナ方法モ非常ニ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、實ヘ私等ノ附近デモ公債消化ニハ農村デハ非常ニ憂フベキ状況ニ希望者ガ低下シテ參ツタ實情ガアツタノデアリマシテ、私ハ時局ニ對スル認識ガ足ラナクナツタノデハナカラウカト云フ風ニ心配ヲ致シタノデアリマスガ、是

ガ先般建艦運動ヲ起シマシテ、例ノ「ソロモン」海戦ノ戰況ヲ許サレタ範圍申シマシテ、私島根縣デゴザイマスガ、島根縣ノ西部カラ壯年團ガ建艦運動ニ乘出シマシタ所、二郡デ地方事務所ヲ一ツ持ツテ居ル小サイ郡デアリマスニ拘ラズ、昨日私ノ聞キマシタ報告デハ一郡デ十万圓ヲ突破スル狀況デアリマス、私ハ此ノ報告ヲ見マシテ非常ニ感激ヲ覺エルト共ニ、一戸當リ大體私ノ目標デハ二圓程度出シテ吳レレバ宜イト云フヤウナ考ヘデ運動ヲ起シ、アツチコツチ演説ヲシテ歩イタノデアリマスガ、其ノ結果ハ豫期ニ反シテ一戸當リ十二三圓ニナツテ居リマス、而モ其ノ中ニハ非常ニ貧困ナ者デアルニ拘ラズ出シテ居ルト云フヤウナコ成程三十万石、四十万石ト減ルカモ分リマセヌ、ケレドモソレダケ必ズ食糧事情ガ良クナルト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、此ノ點ニ付キマシテ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○松隈政府委員 酒造米ヲ減ラシマスレバ、響ヲ與ヘテ、政府ノ施策ニ順應シテ行キ得ルト云フ自信ヲ是デ得タノデアリマス、就キマシテハ、先程御話ガアリマシタヤウニ公債ノ割當ニ對スル所ノ率ノ指導ト云フコトニ付キマシテハ、先程御話ニナリマシタヤウナ點ニ十分御注意戴キマシテ、國民負擔ノ均衡カ、此ノ公債消化ニ思ヒマスガ、一方ニマス點ハ私モ同感デアリマス、就キマシテハ、此ノ公債消化サレル上ニ於キマシテ、要ルノグラウト思ヒマス、此ノ點モ能ク御給ガ潤澤ニナル譯デアリマスルガ、一方ニ於キマシテ今日ノ酒ハ生産力擴充方面ノ労務者ニ重點的ニ配給サレテ居リマス、其ノ生産力擴充労務者ト云フ中ニハ農民モ含メテ居リマシテ、農家ノ田植ノ時期、或ハ稻刈ノ時期、又ハ新穀感謝ト云ツタヤウナ意味ヲ以チマシテ特ニ酒ノ増配モ致シテ居リマス、隨ヒマシテ酒ノ増配ガアリマスレバ農民ノ元氣ガ鼓舞サレテ、ソレニ依ツテ生産ヲ刺戟致シマシテ、相當米穀ノ生産ノ上ニ役立ツコトト思フノデアリマスルガ、果シテ酒ヲ廻ハシタ結果ガ幾々増産ニナツテノ方法モ御考ヘラ願ヒタイト思フノデアリマス

○松隈政府委員 米穀需給計畫ヲ立テルニ當リマシテ、米ノ各種用途ニ對シマスル消費計畫ヲ立テマシテ、其ノ中ニ於テ酒造用米ヘ此ノ酒造年度ニ於テハ何程ヲ使ツタラ宜シイノデアラウト云フコトガ決マルノデアリマシテ、其ノ點カラ申シマスレバ酒造米ニ使ハレナイ部分ハ各々計畫サレタ他ノ用途ニ使ハレル譯デアリマス、唯酒造米ガ減リマシタ關係上、清酒其ノ他ノ酒類ガ減ツテ、爲ニ酒類ノ供給ガ不足スルコトカラ農家ガ食糧ニ持ツテ居ル米デ濁酒ヲ密造スルト云フヤウナコトニナリマスルト、一方ニアリマスルケレドモ、酒造米ヲ減ラシタ時モ、其ノ減ツタダケニ相當スルモノガ目的ノ用途ニ使ハレナイト云ツタヤウナコトニ

大體昨年通り今年ハ酒造米ノ割當ヲ戴ケルモノト酒屋ハ皆考ヘテ居ツタヤウデアリマスガ、是

ス、所ガ急ニ二割二分七厘ノ割當ノ減額ト云フモノガ茲ニ現ハレテ參リマシタ、其ノ理由ハ船舶ノ事情竝ニ國內ノ食糧事情ノ睨合ハセカラ已ムヲ減ラシニナルト云フコトハ私モ承知シテ居リマス、併シナガラ是以上酒造米ヲオ減ラシニナルト云コトト少シ違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、私ハ酒造米ヲ減ラスト云フコトハ、其ノ減ラシタ米ガ國民ノ主食、詰リ米ガ必ず殖エルト云フ風ニ御考ヘニナルノデアリマセウカトトコトヲ御尋ネ申上げタ、ト申シマスノハ先達テモ色々問題ニナリマシタ自家用酒ノ醸造——自家用酒ト云フ言葉ハ適當デナト云コトヲ御尋ネ申上げタ、ト申シマスノハ先達テモ色々問題ニナリマシタ自家用酒ノ醸造——自家用酒ト云フ言葉ハ適當デナ

○田中(勝)委員 私ノ今御尋ネ申シマシタコトト少シ違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、私ハ酒造米ヲ減ラスト云フコトハ、其ノ減ラシタ米ガ國民ノ主食、詰リ米ガ必ず殖エル次第デアリマス

似タ結果ヲ來シマスル虞ノアルコトハ御示シノ通リデアリマス、ソコデ酒造用米ヲ減ラスト云フコトニ付テモ、自ラ一定ノ限度ガアルヤウニ思ハレルノデアリマシテ、本年ノ状況ト致シマスレバ、船舶ノ關係其ノ他ヲ考ヘマシテ、此ノ程度ノ酒造用米ノ減少ヲ立テルコトニ致シタノデアリマス、ソコデ米ヲ原料トスル清酒ガ減ルト致シマスレバ、何等カノ方法デ致醉飲料ノ増スヤウナ方法ヲ他方ニ於テ工夫致シ、生産ヲ出來ルダケ減ラサナイヤウニ工夫致シマスルト共ニ、配給方面ニ於キマシテ、昨日モ申上げマシタヤウニ、業務用酒ヲ相當減ラシマシテ、之ヲ特配用ト家庭用ノ方ニ出來ルダケ居マシテ、配給上ニモ留意致シマシテ、只今申上ゲマシタヤウニ、一應他ノ用途ニ豫定サレテ居ル米ガ密造ノ形デ酒ニ變ハルコトニ付テハ、出來ルダケ之ヲ防止シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○田中(勝)委員 昨日デアツカ此ノ密造ノコトニ付テ——密造ガ全國的ニ非常ニ多イト云フコトニ付キマシテハ、私モ大體實情ハ其ノヤウニ考ヘテ居リマス、ソコデ餘りニ考ヘラレマス、併シナガラ密造者ガ多イカラト云ツテ、之ヲ取締ラスト云フヤウナ意見モ中ニヘアリ、昨日モ農民アタリニ御同情ノ餘リサウ云フ御意見モ多少出タヤウニ考ヘマスガ、是ハ主張局長ノ御決意ノ通り、法ニ定メタコトヲ取締ラスト云フコトハイケナイト思ヒマスノデ、是ハヤハリ何處マデモ取締ツテ戴カナケレバナラスト思

ヒマス、尙ホ此ノ密造ヲヤツテ居リマスコトニ付キマシテハ、速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマスガ……

○松村委員長 一寸速記ヲ止メテ……  
〔速記中止〕

○田中(勝)委員 次ニ私ハ特別行爲税ニ付キマシテ一二政府ノ御所見ヲ承リタイコトガゴザイマス、今度特別行爲税ヲ新設スルコトニナセタノデアリマスガ、此ノ中ニ染色、刺繡ト云フ名目ノ下ニ二十五圓程度ヲ超エタナラバ税金ヲ課ケルヤウニナツテ居リマス、是ハ御説明ヲ伺ヒマスト、古イ物ヲ直シテモヤハリ之ヲ超過スルト税金ガ要ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、私ノ考ヘデハ、時局柄古イ物ヲ更生スルト云フ意味ニ於キマシテ、假ニソレガ二十五圓ヲ超エマシテモ、本當ニ古イ物ヲ更生サセルト云ツタヤウナ場合ニハ、ソコニ何等カノ免税トレル必要ガアリハセヌカト云フヤウナ氣ガ致シマスガ、此ノ點ニ付テ政府ノ御考ヘラレガ二十七圓見當ニナツテ居リマス、ソレカラ申シマスレバ、古イ洋服ヲ裏返シテ仕立テマシタヤウナ場合ニハ、マア二十五圓以内位デ納マルノデハナイカト豫想セラレルノデアリマス。

○田中(勝)委員 酒ノ小賣業者ノ整理問題ニ付テ先日有馬委員カラノ御質問ガアリシタガ、アノ時ニ三百戸受持云々ノ所デ酒ノ小賣業者ノ整理統合ノミ數ガ染エテ居ルト云フヤウナ風ニ私聽イタノデアリマスガ、アレハ事實極ク特例デアリマシテ、全國的ニ見ルト、非常ニ大多數ノ人ガ整理サレテ居ルヤウニ自分ハ承知致シテ居リマスガ、是ハ資料ガアルモノト思ヒマスカラ、其ノ資料ニ依リマシテ、一ツサウ云ツタヤウナ疑念ヲ此ノ際解イテ戴キタイト思ヒマス

バ、大體染替ノ部分ニ付キマシテハ、贅澤タガ、洋服ノ仕立替ノ場合ズモ、二十五圓程度ナラ大體古イモノノ仕立代ト云フモノハアレデ大丈夫デゴザイマスカ御見込ハ……  
○松隈政府委員 洋服ノ仕立ニ付キマシテハ、昨日モ河野委員ノ御質問ガアリマシテソレニ御答ヘ致シタノデアリマスルガ、新シク洋服ヲ作リマシタ場合ニ於キマシテ、以上ノ御説明デ能ク了承シマシタ、時間ノ關係モアリマスカラ私致シマシタ、時間ノ關係モアリマスカラ私ト申シテ宜ノデアリマス

○田中(勝)委員 以上ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、時間ノ關係モアリマスカラ私ト申シテ宜ノデアリマス

○木村(正)委員 私主税局長ニ一時御伺ヒ

シタノイデスガ、國民學校ノ「ノート」ノ課

税問題デス、紙ニ付キマシテモ、製本印刷ニ付キマシテモソレド、課税スルコトニナ

ツテ居ルト思ヒマスガ、ソレニ付テ何カ大藏省デ御決定ニナツタ點ガアレバ伺ヒタイ

ノ學習「ノート」ノ問題デアリマシテ、是ノ印刷ナリ製本ナリニ特別行爲税ガ掛ルカト

云フ點デアリマスルガ、特別行爲税法ニ非

課税範圍ヲ規定シテ居リマシテ、其ノ第五

號ニ其ノ他命令ヲ以テ定ムモノト云フモ

ノガゴザイマス、此ノ命令案要綱ハ御示シ

シテアルノデアリマスガ、其ノ中ノ又最後

ニ大藏大臣ノ指定スルモノト云フノガ置イ

デゴザイマスノデ、ソレニ依ツテ指定シテ

課税外ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○木村(正)委員 サウスルト今ノ製本印刷ノ特別行爲税ノコトデスガ、紙ニ付キマシ

テモヤハリ課税ハ免稅ナレル、斯ウ云フ御

趣旨デゴザイマスカ

○松隈政府委員 紙ニ對スル物品税ニ於キ

マシテモ同様ナ扱ヒヲ致シタイト思ヒマス

マシタガ、一時中間整理ト云ツタヤウナ形

○木村(正)委員　只今ノハ國民學校ノ學習用ノ「ノート」ノコトデアリマスガ、ヤハリ同ジ義務教育ノ青年學校ノ學習用ノ「ノート」、是ハ一定ノ形式ガナイノデ、實ベ色々困難ナ點モアラウト思ヒマスガ、青年學校ニ付テハ何カ御考ヘニナツテ居ラレルノデゴザイマセウカ

○木村(正)委員 是ハ大臣ニ一ツ御尋ねシ  
タイト思ツテ居ル一點デゴザイマスガ、間  
接税ニ關係シタ問題デモアリマセヌガ、將  
來ノ税ノ問題ト致シマシテハ、今日ノ經濟  
機構ガ私經營カラ段々ト公經營ト申シマス  
ルカ、營團、國策會社、或ハ統制會社トカ、  
サウ云フ方面ニ變化ヲ致シテ居ル譯デアリ  
マシテ、是等ノ國策會社トカ營團等ニ付キ  
マシテハ、總テ所得稅ナリ、或ハ法人稅、  
營業稅等ガ免除ニナツテ居ルヤウナ狀況デ  
アリマス、此ノ方面ニ相當租稅政策ノ上カ  
ラ御考ヘニナラナクテハナラヌノデハナイ  
カ、サウ云フ時期ニ到達シテ居ルノデハナ  
イカト思ヒマス、隨テ此ノ點ニ付テドウ云  
フ風ニ今日大藏當局ハ御考ヘニナツテ居ル  
カ、或ハ既ニ今日御研究ニナツテ居ルノデ  
アリマセウカ、或ハ租稅ノ形ヲ取ルカ、或  
ハ交付金ノ形ヲ取ルカ、色々其ノ剩餘金等  
ニ付テ御研究ガ必要デアラウト思ヒマス、  
是ハ實ハ大臣ニ御尋ねスル一點デアリマス  
ケレドモ、此ノ際主稅局長ノ御意見ヲ一ツ  
伺ツテ見タイト思ヒマス

○松隈政府委員　統制經濟ノ進展ニ從ヒマシテ、各種企業ニ瓦リマシテ相當廣ク國策會社ノ設立、或ハ統制會社ノ設立、又ハ營團等ノ設立ヲ見ツアリマス、隨ヒマシテ從來ノ個人企業、又ハ法人企業ノ範圍ガ次第ニ狹メラレツツアル狀況ニアリマスルコ

トハ御仰セノ通りアリマス、隨々從來普  
通ノ法人稅、所得稅ノ課稅ノ對象デアリマ  
スル範圍ガ幾分縮少シマシテ、免稅特權ヲ有  
シテ居ル國策會社、統制會社、營團等ノ方  
ニ範圍ガ移行シテ行クト云フ事實ガゴザイ  
マス、一方ニ於キマシテ戰時財政運營ノ爲  
ニ國庫收入ノ增加ヲ圖ル必要ガアルノデア  
リマスルカラシテ、此ノ際直接稅ノ增徵ヲ  
ナスニ當リマシテハ、其ノ事實ヲ能ク認識  
致シマシテ、課稅ニ於テモ適當ナル考慮ヲ  
拂ツテ、從來ノ免稅特權ト云フモノヲ見直  
スト云フコトガ必要デアラウト思ツテ居ル  
ノデアリマス、普通ノ法人稅、ソレカラ所  
得稅、ソレカラ現在ハ御承知ノ通り、特別  
法人稅ト云フモノガアリマス、更ニ國策會  
社、營團等ハ、其ノ資本ノ構成、收益力、  
事業目的達成ノ難易等ニ依リマシテ、或  
程度段階ノ違ツタ免稅特權ヲ持ツテ居リマ  
ス、是等ニ付テモ其ノ各設立當時ノ狀況ニ  
依ツテ免稅特權ヲ與ヘテ居ルノデアリマス  
ガ、其ノ後増稅ヲ致シマシタノデ、最初ニ  
與ヘタ當時トハ狀況ガ大分變ツテ居リマ  
ス、ソレデアリマスカラ、ドウシテモ今後  
ニ於キマシテ直接稅ニ付キ相當大幅ノ增稅  
ヲ致スヤウナ場合ニ於テハ、此ノ點ニ付テ  
手ヲ觸レナイト負擔ノ均衡モ得マセヌシ、  
又增收上モ遺憾ナ點ガアルト思フノデ、大  
藏當局ト致シマシテハ、此ノ問題ハ慎重ニ  
研究ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、今回ハ

○木村(正)委員 今ノ調査ノ困難ナ實情カラ  
テ、殆ド課稅サレテ居ラナイ、斯ウ云フヤウチ  
コトデアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ方法  
等ニ付キマシテ今後御研究ノ上、直接稅増  
稅ノ時ニ一ツ御考ヘラ御願ヒ致シタイト思ヒ  
マス、私ノ主稅局長ニ對スル御尋ネハ是デ  
終リマス

○松村委員長 九鬼君

○九鬼委員 大分色々御意見モ出テ拜聽シ  
テ居リマスガ、物品稅ノ書畫骨董ニ付テ、  
或ハ私ノ聽洩レカドウカ知リマセヌガ、二  
三御伺ヒ致シタイト存ジマス、此ノ書畫骨  
董ニ對スル課稅ハ中々難シイト思フノデア  
リマス、相當ノ脫稅モアルヤウニ感ジテ居  
ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ今後ドウ云  
フ風ニ之ヲ御取扱ヒニナルカ、或ハ此ノ書  
畫骨董ノ藝術方面ノ價值ト云フ點デハ中々  
難シイヤウニ思フ譯デアリマスガ、賣立ニ  
於テ現ハレタルモノニ付テハ明カニ分ツテ  
居ル譯デアリマスガ、所謂個々ノ賣買ニ付  
テハ絶對ニ分ラナイト言ツテモ宜イ位分ラ  
ナイノデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ點  
ニ付テモ何カ一ツ工夫ガオアリニナレバ御  
聽カセラ願ヒタイト思ヒマス、今後ドウ云  
フ風ニ御取扱ニナルカ、サウ云フ脫稅方面  
ニ付テノ御工夫ガアルカ御聽カセ願ヒタイ  
ト思ヒマス

○松隈政府委員 書畫骨董ニ對シマスル物  
品稅ノ課稅デアリマスルガ、相當纏マツタ  
取引ノ行ハレマスル場合ハ所謂賣立テノ方  
法ニ依ルノデアリマシテ、其ノ場合ニ於キ  
マシテハ、賣立テノ斡旋ヲ致シマス者ヲ以  
テ販賣ヲナス者ト致シマシテ稅ヲ徵收スル  
建前ニナツテ居リマスノデ、大體課稅漏レ  
ナハイト言ツテ宜シイカト思ノノデアリマ

ス、課税ノ實蹟も相當ニアルノデアリマス、店頭賣買ニ至リマスルト、賣立テノ場合ヨリモ調査が困難デアリマスガ、是ハ一般ノ物品稅ニ對シマスル課稅ノ適實ヲ期スルト同ジヤウナ方法ニ依リマシテ業者ノ自覺ヲ促シ、又取締モシテ參リタイト思ツテ居ルノデアリマス、個人ノ相對デ致シマス交換ノヤウナモノハ課稅ノ對象ニ入ツテ來ナイノデアリマスカラ、其ノ點へ問題外トナル譯デアリマス

○九鬼委員　此ノ書畫骨董ニ對シテ一體ドノ位稅ヲ御取りニナル見込ミデアルカ、是ハ相當ニ表面ニ現ヘレナイ取引ガ——是ハハツキリ分ラヌガ相當ナ大キナ額ニ達シテ居ルヤウニモ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ取締ノ方法ニ依ル譯デアリマスルガ、大體ドノ位、或ハ將來ニ付テモドウ云フ見當デ御取りニナル御見込デアルカ、若シ御考ヘガアレバ御伺ヒシタイト思ヒマス

○松隈政府委員　書畫骨董ノ課稅ノ實蹟アリマスルガ、三月カラ八月ニ至ル六箇月分ノ實蹟ヲ昭和十七年ニ付テ申上ゲマスト、課稅價額デ八百八十五万圓程度ゴザイマス、前年ノ同期ニ於キマシテハ九百六十三万圓程度ノ課稅價額ガアツタ譯デアリマス、少シ減ツテ居リマスガ、是ハ最近ニ於テ賣立テガ大分減少致シマシタ關係上、減ツテ居ル譯デアリマス

○九鬼委員　書畫ノ問題ハソレ位ニ止メテ置キマス、次ハ此ノ間モ稅務署ノ稅務吏員ガ足リナイトカ、或ハ手當ヲ増額セヨトカラ、色々サウ云フ問題ガ出マシタガ、私ハ其ノ問題ヲ方面ヲ變ヘタ點カラ一點御伺ヒシタ、イト思フノデアリマス、ソレハ稅額ヲ算出スル方法ガ年々非常ニ複雜ニナツテ來テ居

ルヤウニ思フノデアリマス、是ハ第三者ノ  
吾々素人ガ一度ヤ二度聞イテモ中々會得ノ  
出來ナイ程複雜デハナイカト考ヘマス、サウ  
云フ點ヲモウ少シ何カ簡單化スルヤウナ御  
考ヘデモナイモノカ、又勿論課稅方法ノ公  
平妥當ヲ理想トシナケレバナラヌ譯デアリ  
マスガ、サウ云フコトヲ理想トシテ簡単ニ  
稅務ノ面ニ於テ算出ノ方法ヲ簡單化出来レ  
バ手數ノ足リナイ所ヲ補ヒ得ルノデハナイ  
カト考ヘル譯デアリマス、其ノ點カラ稅務  
署ノ色々ノ事務ヲ見ルト、實ニ氣ノ毒ナ程  
朝カラ、甚ダシイ時ハ夜ノ十時過ギマデモ  
勉強シテヤツテ居ラレルノヲ見ルノデアリ  
マス、中ニハ健康ヲ害シテ病氣ニナツテ休  
マレル方モ相當アルヤウニ聞イテ居リマス、  
斯ウ云フ方面モ何カ出來得レバモウ少シ簡  
單化シテ稅額ノ算出ノ方法デモ御考ヘニナ  
ツタラドウカト思フノデアリマス、何カ其  
ノ御工夫ニ付テ御考ヘガアレバ、是ハ希望  
トシテ置イテモ宜シイシ、或ハ御所見ヲ御  
漏ラシ戴イテモ結構デアリマス

トニナリマシタガ、ゾレダケ複雜化シテ  
ツタノデアリマスルガ、其ノ點ハ稅制ノ簡易  
化ノ點カラ申シマスルト甚ダ遺憾ニ存ズル  
次第デアリマスガ、又一方カラ見マスルト、  
稅ノ輕カツタ時代ニハ、餘リ色々ノコトヲ  
考慮シナイデ負擔ヲ負ヘセテモ宜シイノデ  
アリマスガ、稅ガ段々重クナレバナル程重要  
諸政策ニ妨ゲノアルヤウナコトヘ出來ルダ  
ケ除ケテ縫ツテ歩クト云フヤウナコトニナ  
リマスルカラ、寄リ道スル所ガ多クテ眞直  
グナ線路ノ場合ト比ベテドウシテモ複雜ニ  
ナノルノデアリマス、ソコデ是ハ兼合ヒ  
ノ問題デアリマシテ、重要諸政策ノ考慮ヲ  
ドノ位採入レルカ、稅制ノ簡易化、國民竝  
ニ稅務官吏ノ便宜ヲドレダケ重ンズルカ、  
此ノコトニアルノデアリマス、確カニ複雜  
過ギルト云フ御非難モ御尤モノコトデアリ  
マスノデ、今後ニ於キマシテハ其ノ觀點モ  
大イニ採入レマシテ、稅制ヲ立テルヤウニ  
工夫ヲ致シテ参りタイト思ツテ居リマス  
○九鬼委員 能ク分リマシタ、モウ一ツ御  
伺ヒラ致シマス、是ハ一般ニ極祕ニナツテ  
居る稅務署内ノ標準率ノ問題デアリマス、  
是ハ一般問題デナクテ稅務署内ノ極祕ノ率  
ノ問題デアリマスガ、所得調査員ハ能ク承  
知スル譯デアリマス、此ノ標準率ニ付テ何  
時モ問題ニナルノハ、之ヲ決メル時ニモウ  
少シ一般人、或ハ審査員ヲソコヘ入レルトカ、  
何カ適當ナル方法ヲ以テ一般ニ比較的のドノ  
部面デモ適スルヤウナ、根本的ナ決メ方デ  
モシテ貰ツカラドウカト云フ問題ヲモ時々  
聞ク譯デアリマス、私モ常ニ同感ヲ持ツテ  
居ルノデアリマスルガ、併シ聽イテ見ルト  
サウ云フ譯ニモ行カナイト云フ理由モアル  
ヤウデアリマス、此ノ機會ニ何カサウ云フ

根本ノ率トナルヤウナ重大ナ問題ハ、モウ少シサウシタ審査員トカ、或ハ所得調査委員ト云フモノガアル譯デアリマスルガ、サウ云フモノデモ入レテ各方面ニ適當ナ案ヲ作ルヤウナ方法デモナイモノカ、此ノ機會ニ一寸御伺ヒスル譯デアリマス、若シ御考ヘガアレバ御漏シ願ヒタイト思ヒマス  
○松隈政府委員 御話ノ通り税務署ニ於キマシテハ、所得標準率ト云フモノヲ作製致シマシテ、之ヲ以チマシテ所得ヲ算定スル場合ニ於ケル極ク荒目盛ノ物指ト致シテ居ルノデアリマス、是ハ調査ヲ致シマスル人員ガ相當多イノデアリマスカラ、而モ各人ニ付テ見マスルト帳簿、書類等ノ完備シテ居ラナイモノモゴザイマスルノデ、一ノ收支調査ガ出來マセヌ關係上、已ムヲ得ズ所謂標準率ニ依ツテ居ル場合ガアルノデアリマスルガ、是ハ所得ノ決定カラ申シマスルト決シテ絶對的ナモノデハナクシテ、一應ノ標準デアリマス、ソレデアリマスカラ標準率ヲ適用スルニ當リマシテハ、大體中庸ヲ得テ居ツテ、標準率ヲ適用シテモノニ付テハナイト思ヘルヤウナモノニ付テハ標準率ヲ適用シテモ宜シイケレドモ、標準率ヲ適用スルコトガ不適當ト認メラレルモノニ付テハ出來ルダケ他ノ方法ニ依ル調査ヲスルヤウニト云フコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、又標準率ニ致シマシテモ、各財務局ニ依リマシテ多少違ツテ居リマシテ、一律ノ標準率ヲ盛ツテ居リマスル所モゴザイマスレバ、或ル程度ノ範圍率ト申シマスカ、所得百圓當リ何圓以上何圓マデト云ツカシテ居ルヤウナモノモゴザイマス、隨ビ残シテ居ルヤウナモノモゴザイマス、隨ビ

ノデゴザイマスルノデ、之ヲ決定スルニ當ツテ役所以外ノ者ヲ入レテ決定スルノガ宜カドウカト云フコトニ付テハ、前々カラ議論ガナイコトハゴザイマセヌガ、今ノ所マグソコマデノ必要ハナカラウト、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

○川崎(巳)委員 委員長、一寸關聯シテ……

○九鬼委員 一寸私は終ヒデスカラ……

能ク分リマシタガ、實際ノ運用ヲスル時ニ、

斯ウ云フ率ガアルト中々其ノ率ニ囚ハレ

テ、所謂杓子定規ニナル譯デアリマス、其ノ點へ出來ル限り活キタヤウニツツノソコニ適スルヤウナ運用ヲシテ戴キタイト云フ希望ヲ述ベテ終リマス

○松村委員長 川崎君

○川崎(巳)委員 私此ノ際關聯事項デ主税

局長ニ一寸伺ヒマス、ソレハ所得稅ノ問題

デスガ、從來私共ノ目擊シテ居ル所ニ依ルト、此ノ標準ノ決メ方ニ甚グ不公平ノ點ガ

アリ、見ルニ忍ビナイ點ガアリマス、其ノ

例ヲ申上ゲマスト、官吏ヤ何カハ等級デ

分ツテ居ル、軍人、教員、甚ダ給料ノ安イ

モノガアリマスガ、ソレニ對シテハ中々重

イ税ガ課カル、併シは所得稅法ノ決メル

所ダカラソレヲ言フノデヘナイガ、ソレニ

對シテ個人營業、醫者、辯護士ト云フヤウ

ナ者ハ、幾十倍若シクハ幾百倍モノ收入ガ

アルニ、ソレニ對シテドウモ稅ノ課ケ方

ガ少イヤウニ思ハレル、ソレカラ中流以上

ノ畫家及ビ塑像、彫刻等ノ藝術家及び藝人、

是ハ隨分困難デアラウコトハ想像出來マスガ、今マデノ所デ順序ヲ見マスト甚ダ比例

ガ取レナイ安イ率ヲ課ケテ居ル、是デハ極端ニ云ヘバ段々思想問題ノ本ニモナルト云申告等ニ於テ出來ルダケ誠實ナ申告ヲシテ

フヤウナコトデ、當局ニ於テモ何トカ出來ヌモノカト餘所ナガラ見テ居ツタノデアリマスガ、現在及ビ今後ハ其ノ邊ノコトガドスガ、極ク素人目デ見テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ大體御説明ガ願ヒタ

セヌガ、極ク素人目デ見テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ大體御説明ガ願ヒタ

或ハ今度ノ改正デドウナツテ居ルカ存ジマ

セヌガ、極ク素人目デ見テ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ大體御説明ガ願ヒタ

イト思ヒマス

○松隈政府委員 官吏、會社員等ノ俸給所

得者ト、自由職業ニ從事シテ居リマス醫師、

辯護士、畫家、音樂家ト云ツタヤウナ階級

トノ間ニ所得ノ基本ノ取り方ニ於テ難易ガ

アルト云フ點ハ御話ノ通リデアリマス、ソ

コデ吾々モ自由職業ニ對スル課稅ノ調査ノ

徹底ト云フコトニ付テハ相當苦心ヲ致シテ

居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ

税務署毎ニ數種ノモノニ付テ實地ニ調査ヲ

スルト云フコトモ致シテ居リマス、ソレカ

ラ同業者ノ權衡ト云フコトヲ調ベマス爲ニ

所謂權衡調査ト云フモノヲ行ヒマシテ、實

地ニ調査シタ其ノ成績ヲ權衡調査ノ中ニ挿

ミ込ミマシテ、實地ニ調査シタモノト比べ

テ、釣合上ソレヲドノ順位ニ置クカト云フ

居ルヤウナ次第デアリマスガ、何ヲ申シマ

シテモハツキリシタ基準ニ依ツテ支給セラ

レルモノト違ヒマスノデ、或ル程度ノ調査

漏レハアルト思フノデアリマス、ソコデ此

○橋本(祐)委員 此ノ手許ニ御廻ヘシニナ

リマシタ租稅法規ノ改正等ニ關スル法律案

名案モナイヤウナ次第デアリマス

○橋本(祐)委員 此ガ此ノコトヲ御尋ネス

ヲ行フコトアリマスガ、此ノコトハ内務

要綱、此ノ十三ニアリマス地方分與稅法「遊

省トモ關係ガアルノデゴザイマセウガ、大

藏當局ノ御考ハデハ此ノ分與割合ハドウ云

興飲食稅、入場稅ノ増徵等ニ伴ヒ地方分與

稅法中配付稅ノ分與割合ニ付必要ナル改正

ヲ行フコトアリマスガ、此ノコトハ内務

省トモ關係ガアルノデゴザイマセウガ、大

藏當局ノ御考ハデハ此ノ分與割合ハドウ云

興飲食稅、入場稅ノ増徵等ニ伴ヒ地方分與

入場稅ナリノ基本ト云フモノガ増徵ノ結果殖

蒐集スルト云フコトガ必要デアラウト思フ

モ、色々出演ヲシテ支拂ヲ受ケルト云フ場

合ニ於キマシテ、其ノ支拂先ヲ調べテ其ノ

支拂調書ヲ集積致シマスト、或ル程度マデ

資料ガ集マツテ参リマスノデ、是等ノ間接

資料ノ調査ニ付テモ出來ルダケ力ヲ注グヤ

ウニ致シマシテ、課稅ノ調査ノ不徹底ナ點

ヲ補フヤウニシテ行ク外、現在ノ所大シタ

アート云フ點ハ御話ノ通リデアリマス、ソ

コデ吾々モ自由職業ニ對スル課稅ノ調査ノ

徹底ト云フコトニ付テハ相當苦心ヲ致シテ

居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ

税務署毎ニ數種ノモノニ付テ實地ニ調査ヲ

スルト云フコトモ致シテ居リマス、ソレカ

ラ同業者ノ權衡ト云フコトヲ調ベマス爲ニ

ハ税制改正ノ結果稅收入ノ彈力性ガナクナ

リマシテ、明年度アタリカラ隨分苦シクナ

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ト云フノ

ジ金ガ行ク程度ニ交付率ヲ引下ゲルト云フ

改正ヲシタ次第デアリマス

○橋本(祐)委員 私ガ此ノコトヲ御尋ネス

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ト云フノ

ハ税制改正ノ結果稅收入ノ彈力性ガナクナ

リマシテ、明年度アタリカラ隨分苦シクナ

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ト云フノ

ハ税制改正ノ結果稅收入ノ彈力性ガナクナ

リマシテ、明年度アタリカラ隨分苦シクナ

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ト云フノ

ハ税制改正ノ結果稅收入ノ彈力性ガナクナ

リマシテ、明年度アタリカラ隨分苦シクナ

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ト云フノ

ハ税制改正ノ結果稅收入ノ彈力性ガナクナ

リマシテ、明年度アタリカラ隨分苦シクナ

ルト云フノハ、今地方自治團體ノ財政ハ漸

次ニ苦シクナツテ來テ居リマス、ソレデ此處ニアリ

マス遊興稅、是ハ相當彈力性ノアル、從來

ニ置カレテ居リマスノデ、東京市ヲ初メト

致シマシテ、各都市トモ非常ニ苦シイ狀態

ニナツテ來テ居リマス、ソレデ此處ニアリ

マス遊興稅、是ハ相當彈力性ノアル、從來

ニ置カレテ居リマス、ソレデ此處ニアリ

マス遊興稅、是ハ相當彈力性ノアル、從來

考慮ニナツテ、唯從來與ヘテ居ツタグケ與  
ヘルト云フノデハ、ドウモ今日ノ情勢デハ  
地方自治團體ハ困ルノデヤナイカト思ヒマ  
スカラ、此ノ點ヲ十分實情ヲ御考察下ナツ  
テ、相當ナ增額ヲシテ戴イタラ結構グラウ  
ト思ヒマス、勿論國ノ收入ノ增加ト云フコ  
トハ考ヘナケレバナラヌコトアリマスガ、  
併シ第一線事務、末端事務ヲ取扱ツテ居  
リマス都市、地方自治團體ニモ相當ナ餘力  
ヲ與ヘ、活動力ヲ與ヘルト云フコトガ戰力  
増強ト云フコトニナルノデアリマスカラ、  
此ノ點十分御考慮ノ程ヲ希望シテ曰マヌノ  
デアリマス

○松隈政府委員 地方團體ガ戰時下ニ於キ

マシテ各種ノ經費ガ要リマスル關係上、財

政ガ勢ヒ膨脹スル狀態ニアリマスルコトハ

御話ノ通リデアリマシテ、地方分與稅分與

金特別會計ニ繰入レマスル歲入ニ於キマシ

テ繰入ノ元ニナル金額ガ段々殖エテ參ツ

テ居リマスカラ、法律ニ依ツテ其ノ儘繰入

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ承ツタノデアリマシテ、殊ニ

戰時勤勉手當等ヲ地方デ支給スルコトニナ

リマシタノデ、ソレニ對シマスル財源トシ

テ幾部分財源ヲ見込ミマシテ、ソレ等ノ金

額デ更ニ追加豫算トシテ三千二百万圓程度

ノ金ガ追加シテ繰入レテアリマスルノデ、

一般會計カラノ繰入額ノ合計ハ昭和十八年

度ニ於テハ五億七千二百万圓程度ニナツテ

居リマシテ、前年度ノ豫算ニ於キマスル約

四億五千万圓ニ較ベマスレバ、一億二千万

圓程度ガ殖エルヤウナ計算ニナツテ居リマ

ス、併シ之ヲ以テ地方財政ガ非常ニ樂ニナ

ツタト云フコトハ言ヘナインデアリマシテ、

今後地方財政ノ改善ト云フコトニハ留意シ

テ参ラナケレバナラナインデアリマスガ、他ノ經

濟諸政策等ト關聯シテ考ヘマスルト、其ノ

點ニ付テドウ云フ御考ヘガアツタノカ、十

分ニ御伺ヒ致シテ見タイト考ヘル點アリ

マス、其ノ點ヲ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒ

マス

一方國ノ財政モ御承知ノヤウナ財政狀態デ

アリマスノデ、兩者睨ミ合ハセテ適當ナ配

付率ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ承ツタノデアリマシテ、殊ニ

戰時勤勉手當等ヲ地方デ支給スルコトニナ

リマシタノデ、ソレニ對シマスル財源トシ

テ幾部分財源ヲ見込ミマシテ、ソレ等ノ金

額デ更ニ追加豫算トシテ三千二百万圓程度

ノ金ガ追加シテ繰入レテアリマスルノデ、

一般會計カラノ繰入額ノ合計ハ昭和十八年

度ニ於テハ五億七千二百万圓程度ニナツテ

居リマシテ、前年度ノ豫算ニ於キマスル約

四億五千万圓ニ較ベマスレバ、一億二千万

圓程度ガ殖エルヤウナ計算ニナツテ居リマ

ス、併シ之ヲ以テ地方財政ガ非常ニ樂ニナ

ツタト云フコトハ言ヘナインデアリマシテ、

今後地方財政ノ改善ト云フコトニハ留意シ

テ参ラナケレバナラナインデアリマスガ、他ノ經

濟諸政策等ト關聯シテ考ヘマスルト、其ノ

點ニ付テドウ云フ御考ヘガアツタノカ、十

分ニ御伺ヒ致シテ見タイト考ヘル點アリ

マス、其ノ點ヲ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒ

マス

一方國ノ財政モ御承知ノヤウナ財政狀態デ

アリマスノデ、兩者睨ミ合ハセテ適當ナ配

付率ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ承ツタノデアリマシテ、殊ニ

戰時勤勉手當等ヲ地方デ支給スルコトニナ

リマシタノデ、ソレニ對シマスル財源トシ

テ幾部分財源ヲ見込ミマシテ、ソレ等ノ金

額デ更ニ追加豫算トシテ三千二百万圓程度

ノ金ガ追加シテ繰入レテアリマスルノデ、

一般會計カラノ繰入額ノ合計ハ昭和十八年

度ニ於テハ五億七千二百万圓程度ニナツテ

居リマシテ、前年度ノ豫算ニ於キマスル約

四億五千万圓ニ較ベマスレバ、一億二千万

圓程度ガ殖エルヤウナ計算ニナツテ居リマ

ス、併シ之ヲ以テ地方財政ガ非常ニ樂ニナ

ツタト云フコトハ言ヘナインデアリマシテ、

今後地方財政ノ改善ト云フコトニハ留意シ

テ参ラナケレバナラナインデアリマスガ、他ノ經

濟諸政策等ト關聯シテ考ヘマスルト、其ノ

點ニ付テドウ云フ御考ヘガアツタノカ、十

分ニ御伺ヒ致シテ見タイト考ヘル點アリ

マス、其ノ點ヲ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒ

マス

一方國ノ財政モ御承知ノヤウナ財政狀態デ

アリマスノデ、兩者睨ミ合ハセテ適當ナ配

付率ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ承ツタノデアリマシテ、殊ニ

戰時勤勉手當等ヲ地方デ支給スルコトニナ

リマシタノデ、ソレニ對シマスル財源トシ

テ幾部分財源ヲ見込ミマシテ、ソレ等ノ金

額デ更ニ追加豫算トシテ三千二百万圓程度

ノ金ガ追加シテ繰入レテアリマスルノデ、

一般會計カラノ繰入額ノ合計ハ昭和十八年

度ニ於テハ五億七千二百万圓程度ニナツテ

居リマシテ、前年度ノ豫算ニ於キマスル約

四億五千万圓ニ較ベマスレバ、一億二千万

圓程度ガ殖エルヤウナ計算ニナツテ居リマ

ス、併シ之ヲ以テ地方財政ガ非常ニ樂ニナ

ツタト云フコトハ言ヘナインデアリマシテ、

今後地方財政ノ改善ト云フコトニハ留意シ

テ参ラナケレバナラナインデアリマスガ、他ノ經

濟諸政策等ト關聯シテ考ヘマスルト、其ノ

點ニ付テドウ云フ御考ヘガアツタノカ、十

分ニ御伺ヒ致シテ見タイト考ヘル點アリ

マス、其ノ點ヲ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒ

マス

一方國ノ財政モ御承知ノヤウナ財政狀態デ

アリマスノデ、兩者睨ミ合ハセテ適當ナ配

付率ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ承ツタノデアリマシテ、殊ニ

戰時勤勉手當等ヲ地方デ支給スルコトニナ

リマシタノデ、ソレニ對シマスル財源トシ

テ幾部分財源ヲ見込ミマシテ、ソレ等ノ金

額デ更ニ追加豫算トシテ三千二百万圓程度

ノ金ガ追加シテ繰入レテアリマスルノデ、

一般會計カラノ繰入額ノ合計ハ昭和十八年

度ニ於テハ五億七千二百万圓程度ニナツテ

居リマシテ、前年度ノ豫算ニ於キマスル約

四億五千万圓ニ較ベマスレバ、一億二千万

圓程度ガ殖エルヤウナ計算ニナツテ居リマ

ス、併シ之ヲ以テ地方財政ガ非常ニ樂ニナ

ツタト云フコトハ言ヘナインデアリマシテ、

今後地方財政ノ改善ト云フコトニハ留意シ

テ参ラナケレバナラナインデアリマスガ、他ノ經

濟諸政策等ト關聯シテ考ヘマスルト、其ノ

點ニ付テドウ云フ御考ヘガアツタノカ、十

分ニ御伺ヒ致シテ見タイト考ヘル點アリ

マス、其ノ點ヲ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒ

マス

一方國ノ財政モ御承知ノヤウナ財政狀態デ

アリマスノデ、兩者睨ミ合ハセテ適當ナ配

付率ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス

レタト致シマシテモ、昨年ニ較ベルト本年

ハ餘程殖エテハ居リマス、併シ經費ノ增加

割合ハ場合ニ依ルトソレ以上デ、地方團體

ノ財政ノ苦シイト云フコトハ御話ノ通リデ

アラウカト思フノデアリマス、尙ホ大體ノ

金額ヲ申上げマスト、地方分與稅分與金

特別會計ニ繰入レマスル金額ハ地方分與

稅法ノ第六條ニ依ツテ十八年度ニ繰入レ

ル金額ヲ出シマスト、四億七百万圓程ニ

ナルノデアリマスガ、是ハ前々年度ノ分

與稅ノ基本ニナル金額ヲ基礎トシテ繰入

レル計算デアリマスガ、ソレデハドウモ

基本ガ低過ギテ金額ガ少イト云フノデ、

最近ハ當該年度ノ豫算ニ依ツテ繰入レル

勘案セラレテ成案ヲ得ラレマシタコトハ、

ヤウニ致シテ居リマスノデ、本豫算ニ

今マデ詳細ニ

タ所デアリマスガ、此ノ見地ニ立ツテ今回ノ増稅案ヲ考ヘテ見マスルト私ハ相當考慮スベキ諸點ガアルデハナイカト思ヒマス、ソレハ先づ酒稅ニ於テ、清酒ヲ四階級ニ分ケラレテ、從來ヨリモ一層複雜化サレ、特等酒ヲ依然存置サレテ居ル、此ノ存置ノ理由ニ付キマシテハ、主稅局長カラ、是ハツ保存スル必要モアルシ、サウ云フ考慮モ入レラレテ置イタノデアルト云フヤウナ御説明モアリマシタガ、若シ存置スルト致シマシテモ、六万石近クヲ造石シナインデモ自ラソコニ存置ノ方法モアラウカト思ヒマス、酒一升七圓ト云フコトデアリマスト、酒ノ價格ヨリ稅ノ方ガ二倍モアル、即チ是ハ主稅局長モ言ヘレテ居ツタヤウデアリマスガ、酒ヲ飲ムト云フヨリモ稅ヲ飲ム、斯ウ云フヤウナ形ノモノデアリマシテ、一級酒ハ大所得者或ハ會社其ノ他サウ云フ方面ニ用ヒラレル、斯ウ云フ極ク特殊ノ人ノ爲ニ一級酒が存在ラヌル、斯ウ云フ形ニナルカト思ヒマス、又遊興飲食稅ヲ見マシテモ、百分ノ二百ト云フヤウナ稅ヲ藝妓ノ花代トシテ課スル、是モ「サービス」代ト云フヨリモ寧ロ稅ノ方ガ二倍モアル、斯ウ云フコトデアツテ、「サービス」代デナクシテ稅ヲ取立テ居ル、結局稅務署ノ囑託見タヤウナ恰好ニナルト思ヒマス、藝妓ト云フヨリモ稅妓ト云ツタ方が適當ナコトニナリバシナイカト思フ、斯ウ云フヤウニ酒ヲ飲ムニアラズシテ稅ヲ飲ンダリ、藝妓ニアラズシテ稅妓デアルト云フヤウナ形ガ此ノ稅法ノ上ニ現ハテ參ルト云フコトヘ、私ハ法ノ體裁トシテモ甚グヲカシナ體裁ダト思ヒマスシ、又先程大藏大臣ノ御演說ニアリマシタ物資、勞力、資金等ヲ戰力増強ノ方面ニ轉換集中

スルト云フ方面カラ考ヘマシテモ、戰時國民精神ヲ昂揚スル點カラ考ヘマシテモ、又世間ニ所謂シキヲ憂ヘズ均シカラザルヲ憂ス、ソレハ先づ酒稅ニ於テ、清酒ヲ四階級ニ分ケラレテ、從來ヨリモ一層複雜化サレ、特等酒ヲ依然存置サレテ居ル、此ノ存置ノ理由ニ付キマシテハ、主稅局長カラ、是ハツ保存スル必要モアルシ、サウ云フ考慮モ入レラレテ置イタノデアルト云フヤウナ御説明モアリマシタガ、若シ存置スルト致シマシテモ、六万石近クヲ造石シナインデモ自ラソコニ存置ノ方法モアラウカト思ヒマス、酒一升七圓ト云フコトデアリマスト、酒ノ價格ヨリ稅ノ方ガ二倍モアル、即チ是ハ主稅局長モ言ヘレテ居ツタヤウデアリマスガ、酒ヲ飲ムト云フヨリモ稅ヲ飲ム、斯ウ云フヤウナ形ノモノデアリマシテ、一級酒ハ大所得者或ハ會社其ノ他サウ云フ方面ニ用ヒラレル、斯ウ云フ極ク特殊ノ人ノ爲ニ一級酒が存在ラヌル、斯ウ云フ形ニナルカト思ヒマス、又遊興飲食稅ヲ見マシテモ、百分ノ二百ト云フヤウナ稅ヲ藝妓ノ花代トシテ課スル、是モ「サービス」代ト云フヨリモ寧ロ稅ノ方ガ二倍モアル、斯ウ云フコトデアツテ、「サービス」代デナクシテ稅ヲ取立テ居ル、結局稅務署ノ囑託見タヤウナ恰好ニナルト思ヒマス、藝妓ト云フヨリモ稅妓ト云ツタ方が適當ナコトニナリバシナイカト思フ、斯ウ云フヤウニ酒ヲ飲ムニアラズシテ稅ヲ飲ンダリ、藝妓ニアラズシテ稅妓デアルト云フヤウナ形ガ此ノ稅法ノ上ニ現ハテ參ルト云フコトヘ、私ハ法ノ體裁トシテモ甚グヲカシナ體裁ダト思ヒマスシ、又先程大藏大臣ノ御演說ニアリマシタ物資、勞力、資金等ヲ戰力増強ノ方面ニ轉換集中

スルト云フ方面カラ考ヘマシテモ、戰時國民精神ヲ昂揚スル點カラ考ヘマシテモ、又世間ニ所謂シキヲ憂ヘズ均シカラザルヲ憂ス、ソレハ先づ酒稅ニ於テ、清酒ヲ四階級ニ分ケラレテ、從來ヨリモ一層複雜化サレ、特等酒ヲ依然存置サレテ居ル、此ノ存置ノ理由ニ付キマシテハ、主稅局長カラ、是ハツ保存スル必要モアルシ、サウ云フ考慮モ入レラレテ置イタノデアルト云フヤウナ御説明モアリマシタガ、若シ存置スルト致シマシテモ、六万石近クヲ造石シナインデモ自ラソコニ存置ノ方法モアラウカト思ヒマス、酒一升七圓ト云フコトデアリマスト、酒ノ價格ヨリ稅ノ方ガ二倍モアル、即チ是ハ主稅局長モ言ヘレテ居ツタヤウデアリマスガ、酒ヲ飲ムト云フヨリモ稅ヲ飲ム、斯ウ云フヤウナ形ノモノデアリマシテ、一級酒ハ大所得者或ハ會社其ノ他サウ云フ方面ニ用ヒラレル、斯ウ云フ極ク特殊ノ人ノ爲ニ一級酒が存在ラヌル、斯ウ云フ形ニナルカト思ヒマス、又遊興飲食稅ヲ見マシテモ、百分ノ二百ト云フヤウナ稅ヲ藝妓ノ花代トシテ課スル、是モ「サービス」代ト云フヨリモ寧ロ稅ノ方ガ二倍モアル、斯ウ云フコトデアツテ、「サービス」代デナクシテ稅ヲ取立テ居ル、結局稅務署ノ囑託見タヤウナ恰好ニナルト思ヒマス、藝妓ト云フヨリモ稅妓ト云ツタ方が適當ナコトニナリバシナイカト思フ、斯ウ云フヤウニ酒ヲ飲ムニアラズシテ稅ヲ飲ンダリ、藝妓ニアラズシテ稅妓デアルト云フヤウナ形ガ此ノ稅法ノ上ニ現ハテ參ルト云フコトヘ、私ハ法ノ體裁トシテモ甚グヲカシナ體裁ダト思ヒマスシ、又先程大藏大臣ノ御演說ニアリマシタ物資、勞力、資金等ヲ戰力増強ノ方面ニ轉換集中

スルト云フ方面カラ考ヘマシテモ、戰時國民精神ヲ昂揚スル點カラ考ヘマシテモ、又世間ニ所謂シキヲ憂ヘズ均シカラザルヲ憂ス、ソレハ先づ酒稅ニ於テ、清酒ヲ四階級ニ分ケラレテ、從來ヨリモ一層複雜化サレ、特等酒ヲ依然存置サレテ居ル、此ノ存置ノ理由ニ付キマシテハ、主稅局長カラ、是ハツ保存スル必要モアルシ、サウ云フ考慮モ入レラレテ置イタノデアルト云フヤウナ御説明モアリマシタガ、若シ存置スルト致シマシテモ、六万石近クヲ造石シナインデモ自ラソコニ存置ノ方法モアラウカト思ヒマス、酒一升七圓ト云フコトデアリマスト、酒ノ價格ヨリ稅ノ方ガ二倍モアル、即チ是ハ主稅局長モ言ヘレテ居ツタヤウデアリマスガ、酒ヲ飲ムト云フヨリモ稅ヲ飲ム、斯ウ云フヤウナ形ノモノデアリマシテ、一級酒ハ大所得者或ハ會社其ノ他サウ云フ方面ニ用ヒラレル、斯ウ云フ極ク特殊ノ人ノ爲ニ一級酒が存在ラヌル、斯ウ云フ形ニナルカト思ヒマス、又遊興飲食稅ヲ見マシテモ、百分ノ二百ト云フヤウナ稅ヲ藝妓ノ花代トシテ課スル、是モ「サービス」代ト云フヨリモ寧ロ稅ノ方ガ二倍モアル、斯ウ云フコトデアツテ、「サービス」代デナクシテ稅ヲ取立テ居ル、結局稅務署ノ囑託見タヤウナ恰好ニナルト思ヒマス、藝妓ト云フヨリモ稅妓ト云ツタ方が適當ナコトニナリバシナイカト思フ、斯ウ云フヤウニ酒ヲ飲ムニアラズシテ稅ヲ飲ンダリ、藝妓ニアラズシテ稅妓デアルト云フヤウナ形ガ此ノ稅法ノ上ニ現ハテ參ルト云フコトヘ、私ハ法ノ體裁トシテモ甚グヲカシナ體裁ダト思ヒマスシ、又先程大藏大臣ノ御演說ニアリマシタ物資、勞力、資金等ヲ戰力増強ノ方面ニ轉換集中

ト存ジマス、ソレニ付キマシテ御所見ヲ承リタイト思ヒマス  
○賀屋國務大臣 只今ノ實情ニ於キマシテハ、色々考ヘ方モアリマセウガ、被服ニ致シマシテモ、モウ何人モ同ジモノデ一切區別ガナイ詰り製造致シマス織物モ一反當リノ

ト存ジマス、ソレニ付キマシテ御所見ヲ承相成ツテ居ラヌト致セバ、斯カル遊興ヲナシ得ル者ハ非常ニ大キナ負擔ヲナシテ然ルベシト思フノデアリマス、其ノ存在ヲ否定致シマセヌ場合ニ於キマシテハ、其ノ狀態ニ於キマシテ特ニ高率ノ課稅ヲスルト云フコトハ、課稅セザルヨリモ遙カニ戰時ノ事態ニ合フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

藏大臣ノ今日マデオヤリニナツテ居ル方法ガ断乎タル措置ヲ執ラルベキ戰爭段階ニ達シテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、大デアルト思ヒマス、私ハ最早今日ハ政府

段階カラ考ヘマスト、相當思ヒ切ツタ措置モ執ラナケレバ其ノ目的ヲ達成シナイ、國民ヲ緊張セシムルコトが出來ナイ、其ノ事

自體ニ於テハ目的ヲ達シマシテモ、ソレガ他ノ戰時生活ノ方面ニ、或ハ生產增强ノ方面ニ影響スル所ガ甚大デアルト思ヒマス、物當アルノデハナイカ、其ノコトが存在シテ居ルガ故ニ、ソコニ色々ナ資金、労力、物資ガ使ハレル、隨テ其ノ爲ニ闇其ノ他ノ弊害ヲ助長スル、國民ノ精神ヲ緊張セシメナ

居ルガ故ニ、ソコニ色々ナ資金、労力、物資ガ使ハレル、隨テ其ノ爲ニ闇其ノ他ノ弊害ヲ助長スル、國民ノ精神ヲ緊張セシメナ

品稅ノ中ニ於キマシテモ、甲種ニ屬シテ居ルヤウナモノハ製造禁止ヲナスベキモノモ相對云フ筋合ニモ一面ナルノデアリマス、セヌガ、賣ル値段ハ三圓五十錢ト七圓ト云フ位違フ、一寸上等ノモノヲ飲ム爲ニ、所得ノ多クアル者ハソレダケノコトヲシナケレバナラコトガ、又資金ヲ國家的ニ向ケル一つノ方法デモアリ、又戰時ニ於テ少シデモ樂ナ立場ノ者ガソレダケノコトヲシナケレバナラヌト云フ筋合ニモ一面ナルノデアリマス、ソ

其ノ點カラ申シマシテ、稅率ノ差等ハヘ平時トシテハ少シアリ過ギル、或ハ大イニアリ過ギル差等ダト思フノデゴザイマス、ソレヲ今申シマスヤウニ從來ニ於テハ一圓二十六錢ノ酒ハ三圓五十錢ニナルガ、僅カ十八錢ノ違ヒデ從來ニ於テハ一圓四十四錢ノ場合ニハ七圓ニナル、サウ云フヤハリ社會賦シテノ多少潤ヒヲ持チナガラ、多少デモ他ノ者ヨリ樂ノ出來ル者ガ非常ニ大キ

ク稅ヲ納メルト云フコトモ亦今ノ場合トシテ必要デハナイカト存ズルノデアリマス、藝妓ノ花代等ニ付キマシテハ、全般ノ觀點ノ率直ナル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、マクテハナラヌ大キナ問題デハナイカト存ズルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ大臣ナクテアルト云フヤウナ形ガ此ノ稅法ノ上ニ現ハテ參ルト云フコトヘ、私ハ法ノ體裁トシテモ甚グヲカシナ體裁ダト思ヒマスシ、又先程大藏大臣ノ御演說ニアリマシタ物資、勞力、資金等ヲ戰力増強ノ方面ニ轉換集中トハ決シテ適切妥當な方法デハナカラウカ

ト存ジマス、ソレニ付キマシテ御所見ヲ承相成ツテ居ラヌト致セバ、斯カル遊興ヲナシ得ル者ハ非常ニ大キナ負擔ヲナシテ然ルベシト思フノデアリマス、其ノ存在ヲ否定致シマセヌ場合ニ於キマシテハ、其ノ狀態ニ於キマシテ特ニ高率ノ課稅ヲスルト云フコトハ、課稅セザルヨリモ遙カニ戰時ノ事態ニ合フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

ト存ジマス、ソレニ付キマシテ御所見ヲ承相成ツテ居ラヌト致セバ、斯カル遊興ヲナシ得ル者ハ非常ニ大キナ負擔ヲナシテ然ルベシト思フノデアリマス、其ノ存在ヲ否定致シマセヌ場合ニ於キマシテハ、其ノ狀態ニ於キマシテ特ニ高率ノ課稅ヲスルト云フコトハ、課稅セザルヨリモ遙カニ戰時ノ事態ニ合フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

製造費が非常ニ安い、隨テサウ云フ酒ヲナルクスルノモ惜シノデアル、又飲メル者ニハ飲マシタガ宜イデハナイカ、サウシテ税ノ方面ニ國家ニ貢獻セシメタガ宜イデヤナカト云フ御考ヘモ一應ハ御尤モト思ヒマスケレドモ、今日ハ思想ノ方面モ考ヘナケレバナラヌシ、又ソレヲ造ル爲ニ特別ナ勞力モ要リマセウシ、又其ノ酒ヲ繞ツテ凡ニユル業界ニ闇ガ行ハレタリ、不正ガ行ハレタリ、ソレニ依ツテ派生スル所ノ影響ト云フモノハ相當私ハ重大デアルト思ヒマス、隨テソレノ點ニ思ヒテ行ケバ宜シト云フ御考ヘモ御持チノヤウデアリマスカラ、國庫ノ收入ヲ増スト云フヤウナ點ハ、私ハ此ノ問題ニ對シテハ、大キナ目的ノ爲ニ犠牲ニナルコトガアルノデヤナカラウカト思ヒマス、殊ニ今日戰場精神ヲ昂揚シナクハテナラスト云フ時ニ、大所得者ハサウ云フ恩典ニ浴スル旨イモノガ飲ヌル、斯ウ云フヤウナ事態ノ存在シテ居ルコトハ、國民全體トシテ緊張ヲ缺クヤウナ結果ニナラストモ限ラナイト思フノデアリマスカラ、此ノ點私ノ意見ヲ申述べマシテ、今後篤ト一ツ御研究ヲ政府トシテ煩ヘシタイト思ヒマス

○木村(正)委員  
ト云フコトデア

○木村(正)委員 マダ閣議御決定ニナラ又ト云フコトデアリマスカラ、何レ適當ナル機會ニ國民所得ノ配分計畫等ニ付キマシテ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ茲ニ關聯シテ御伺ヒ致シタイコトハ、國民所得ト戰費トノ割合、或ハ公債ト租稅トノ割合、或ハ國民所得ト租稅トノ割合、斯ウ云フコトハ始終今日マデ論議セラレテ居ル所デアリマス、先般來ノ大藏大臣ノ御説明ヲ伺ツテ居ルノダト云フヤウニ伺ハレ、一ツノ計畫ヲ以テヤツテ居ルノデナクテ、時宜ニ適スルヤウニ凡ユル條件ヲ加味シテ考ヘテヤツテ居ルニダト云フヤウニ伺ハレマス、私ハ確カニサウ云フコトガ實際ニアラウト思フノデアリマスルガ、併シ今日ハ大東亞戰爭モ本格的ナ段階ニ達シ居ツテ、今日マデノ支那事變以來ノ事態トハ違フト思ヒマス、隨テ戰時財政計畫ヲ立テルニ當リマシテハ、相當合理的ナ考へヲ以て處理シテ行ク、斯ウ云フコトガ戰爭ノ遂行竝ニ戰後ノ經營ノ上カラ考ヘマシテ必要デハナカラウカト考ヘマス、今日マデハ或ハサウ云フ計畫ヲ立テルコトガ出來ナカツタカモ知レマセヌケレドモ、今後ニ於キマシテハ其ノ計畫ガ立ツノデハナイカ、勿論戰爭ノ進展ニ連レマシテ特別ノ方策ヲ用ヒナクテハナラヌ時ハ、是ハ當然ノコトデアリマスケレドモ、今日ノ場合ハ一應合理的ナ計畫ガ立ツノデヤナカラウカト思ヒマス、公債ト租稅トノ割合等ニ付キマシテモ、日本ハ公債ニ依存シ過ギテ居ルト云フ議論モアルリマス

ハ總額ヲ負擔ス  
ガ半々デナクテ  
マイト思フ、是

ヤウデアリマスガ、併シ我が國ノ實情等カラ  
ラ考ヘテ此ノ方法ヲ以テ差支ナイト、斯ウ  
云フ見解ヲ取ラレバ是亦私ハ一つノ見解  
デアラウト思フノデアリマス、必ズシモ國費  
ノ總額ヲ負擔スルニ當ツテ、公債ト租稅ト  
ガ半々デナクテハナラスト云フ議論モ立ツ  
マイト思フ、是ハ國情ニ依ツテ考フベキデ  
アリマセウケレドモ、理論的ニ考ヘルト戰  
後多額ノ公債ガ累積シテ國民ニ負擔ヲ殘ス  
ト云フコトモ考ヘナクテハナリマセヌカラ、  
段々ト公債ト租稅ノ割合、其ノ幅ガ接近シ  
テ行クヤウニ計畫ヲ立テルト云フコトヘ必  
要デハナイカト考ヘマス、又日本ノ租稅ハ、  
列國ニ比シテ國民所得ニ對スル「バーセン  
テード」ガ極メテ少イヤウデアリマスガ、  
隨テ之ヲ出來ルダケ增加スルコトモ必要  
ナヤウニ思ヒマス、サウ云フヤウナ全般ニ  
付テ、大臣ノ今日御考ヘニナツテ居リマス  
所ヲ一ツ率直ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス  
○賀屋國務大臣 各國トモ戰時ニ於テ少ク  
トモ 戰費ノ半分ヲ公債デ賄フト云フヤウ  
ニ言ハレテ居リマス、此ノ公債ト租稅ノ割  
合、國民所得ト戰費ノ割合、是ハ實ハ色々ア  
リマスガ、ソレハ寧ロ逆ニ結果カラ見タ議  
論ガ多イノデアリマシテ、理論的ニ、斯ウ  
ヤレバ財政が健全デアル、斯ウヤレバ不健  
全デアルト云フコトハ、實ハ何モ根據ノアル  
モノハナイノデアリマス、一度ビ戰爭ニ負  
ケレバ、五割租稅デヤツテ居ツテモ、公債  
ノ値ハ「ゼロ」ニナリマス、戰爭ニ勝テバ少  
少公債ノ割合ガ多クテモ、公債ノ價格ハ十  
分保テルシ、又勝ツタ後ノ情勢ト云フモノ  
ガ考ヘラレルノデアリマス、勝ツハ勝ツタ  
ガ、ソレガ辛ウジテ勝ツタノデ、伸ビル見  
込ハナナイ——「イギリス」ナドハ敵國デアリ

マシテ、勝ツ見込モアリマセヌガ、抽象的ニ考ヘテモサウ云フ風ニナルト思ヒマス、日本ノヤウナ國ガ勝ツト云フコトハ、ドウシテモ共榮圈ノ完成デアリマス、日本及び日本ヲ中心トル資源、財力ハ伸ビザルヲ得ナ、ヨコデ今何億ガ公債デアツタナラバ不健全デ、何億ガ租稅デアツタナラバ健全ダト云フコトハ全然意味ガナイト思ヒマス、各國トモサウデアリマシテ、寧ロ經濟狀態、將來ノ國家ノ情勢ニ依ルコトハ第二デアリマシテ、第一ハ勝ツカ負ケルカデアリマス、次ハ勝ツタ後ノ狀況デアリマス、斯ウ云フ觀點ニ於テドウ考ヘルカト云フト、サウ云フ結果ハ非常ニ参考ニハナリマス、斯ウ云フ風ナ國民所得ニ對シテ戰費ノ多イ國ハドウ苦シイカ、斯ウ云フコトハ色々參考ニナルノデアリマシテ、考ヘル要素ニハナルガ、計畫ニハナラヌト思ヒマス、國民所得ノ中デモ、其ノ國ノ生産設備、資本ノ狀態ガドウナルカ、是ガ平時のニ國民消費財ヲ餘計生産シ得ル場合ニ於テ、サウ云フ資本ノ多イ國、軍需工業的ノ設備資本ガ少イ國、是ハ平時的ニ働くセレバ、ソレガ國民所得ノ合計額ニナルデアリマセウガ、戰時ニ於テハ、立派ナ消費財工場モ「スクランブル」ニスルニアラズンベ戰用資材ニハナラヌ、平素十億圓掛ケタモノガ二千万圓ニモナラヌト云フモノモ澤山アリマセウ、サウ云フ狀態デアルカラ、同ジ國民所得ト申シテモ、其ノ何割ガ苛酷デアルカ、何割ガ樂デアルカト云フコトハ、其ノ點カラ申シテモ中々一樣ニハナリマセヌ、同ジ公債トテ居ル國ガ澤山アリマスガ、是ハ日本ノ今ノ申シテモ、今公債ガ少イ國ト稱シテ居ルモノノ中デモ、極メテ短期ノ浮動公債デヤウシテ居ル國ガ澤山アリマスガ、是ハ日本ノ今

ヨリ非常ニ不健全デアルト思フ、「アメリカ」ノ如キハ、半額ヲ租税ニ依ルナドト傲語シナガラ、決算ヲ見ナケレバ明カニハナリマセヌガ、恐ラク一九四二、三年度ノ如キハ、三分ノ一租税デヤルト云フコトハ怪シイト思ヒマス、「アメリカ」ノ數字ナドヲ調ベテモ辻棟ガ合ヒマセヌ、ソレハ寧ロ日本ハ豫算ニ於テハ「パー・ゼン・テーチ」ハ少イヤウデモ、何時デモ租税ノ決算ニ於テハソレヨリ上デ、公債ハ若干發行シナイデ濟ンデ居ル、ソレデアリマスカラ、兎ニ角各種ノ戦争形態ノ上ニ於テ健全デアルトカ、不健全デアルト云フヤウニ稱セラレル國民所得、租税、公債、歳出ノ割合等ニハ吾々一應注意ヲ怠ルコトハ出來マセヌ、ソレニ依ツテ、ソレガ惡イ形ニナル時ニハ十分ニ注意スル必要ハ認メマスガ、現在ノ段階ニ於テ、將來公債ガ一千億、二千億ニ無論ナルト私ハ思ヒマスガ、實ニ是ハ戦爭ニ勝ツコト、勝ツテ後ノ南方其ノ他大陸ノ開發如何ニ依ツテ、支那事變以前ノ日本ノ生産力ニ較ヘレバ凡ニルモノガ一桁上ノ、十倍ノ數ニ達シナケレバ、將來ノ日本ハ率直ニ言ツテ亡ビルト思ヒマス、其ノ位ノ力ヲ持チ得ル段階ニ立ツテ初メテ戦ヒニ勝ツテ、而モ其ノ狀態ガ維持出來ルト思フノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラスレバ、結局國內、南方ニ於テ重要ナル國防ヲ完成シ得ルダケノ各種ノ公債ガ幾ラ殖エヨウガ、殖エマイガ、毫モ憂慮ハナイ、戰後ニ於テ如何ニ稅ヲ徵收シテ漸次銷却シテ行クカト云フ問題ニ過ギヌト思ヒマス、サウカト申シテ、ソレデハ幾

ラ公債ガ出テモ宜イカト申スト、トテモサ  
ウハ参リマセヌ、此ノ戰時ノ状態ニ於テハ  
極力貯蓄ノ増進モ圖リ、本當ノ意味ニ於ケ  
ル資金ノ限界ヨリ以上ニ出ルト云フコトハ  
直グニ戰時財政ノ破綻ヲ來シマスカラ、其  
ノ爲ニハ公債ヲ濫發スルヤウナコトハ毫モ  
考ヘヌノミナラズ、極メテ戒心致シテ居  
リマス、丁度管理通貨時代ニ於テ、金ノ拘束  
ヲ離レタ紙幣ガ濫發増發サレテ居ルデハナ  
イカト云フノト同ジデ、ソレデハ今ノ段  
階ニ於テハ戰争ハ出來マセヌ、金ガ樂ニナ  
レバ餘計出シテモ宜イ、少クナレバ小サク  
スルト云フヤウナコトハ、數十年前ノ夢ノ  
ヤウナ、進歩セザル時代ノ思想デアルカ  
ラ、今公債ガアルカラドンヽ金ヲ出シテ  
モ宜イ、公債ガナイカラ歳出ヲ減ラサナ  
ケレバナラスト云フヤウナコトハ、總力ヲ  
考ヘテ戰爭ヲスル此ノ段階ニ於テハ、左様  
ナ簡単ナ考ヘヘ到底採レナイ、其ノ點ヘ極  
メテ戒心致シテ居ルノデアリマス、昔ノ思  
想カラ申スト、私ガ申上ゲタ所ノ、勝テバ  
宜イ、勝ツタ後ニハ經濟力ガ進ム、何億出  
シテモ宜イト云フ言葉ノ響キガ、十年或ハ  
十數年昔ノ考ヘデ申スト、非常ニ惡ク響キ  
マスガ、只今申上ゲテ居ル意味ハ決シテサ  
ウデハナイノデアリマシテ、今申スヤウニ、  
日本ヲ中心トスル大東亜共榮圈内ニ於テ本  
當ニ綜合國防力、綜合經濟力ガ皆調和ヲ得  
テ、凡ユル必要ナル物資ヲ必要ナ限度ニ皆  
獲得出来ルヤウニ——圈内ニ獲得出来ヌ場  
合ニハ國外カラ獲得シテモ、ソレハ單ニ經  
濟上ノミナラズ、戰時ノ交通輸送ノ確保ガ  
確信出来ルヤウニ築キ上ゲテ行クナラバ心  
配ハナイノデアリマス、ソレニ持ツテ行キ  
タイト云フ觀點デアリマス、隨テ租稅ニ付

キマシテハ度々申上ガマスルヤウニ、是ハ極力租稅ニ依ル方ガ適當デアリマスルカラ、戰時ノ經濟力、國民生活ト云フモノノ許ス最大限ニ租稅ノ増加ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○木村(正)委員 大體大臣ノ御所見ノアル所ヲ伺ヒマシテ、私モ御意見ノアル所ニハ大體ニ於テ御同感デアリマス、動モスルト非常ニ窮屈ナ議論ガ今マテ屢々行ハレテ居ツタヤウデアリマスガ、只今ノ御意見デ當局ノ御考ヘノアル所ガ明瞭ニナツタ次第アリマス、次ニ今回ノ增稅額ハ初年度十億七百万圓、平年度十一億四千萬圓ト決定サレタノデアリマスガ、是ノ算出ノ根據ト申シマスカ、是亦別ニ非常ニ窮屈ナ根據ガアルト云フコトデヤ無論ナカラウト思ヒマスケレドモ、併シ唯漠然ト此處へ此ノ數字ガ出タノデハナカラウト思ヒマス色々ナ財政經濟各般ノ事情、國民生活ノ實體、國民ノ心理狀態、是等ヲ綜合勘案サレテ、此ノ際間接稅ノ增稅額トシテハ是位ガ適當デアラウト、斯ウ斷案ヲ下サレタノニ違ヒアリマセヌケレドモ、併シナガラ此ノ一定ノ數字ヲ出すニ付キマシテハ、其ノ主タル據ルベキ理由ガ私ハ其ノ中ニ存在スルデアラウト思ヒマス、或ハ十七度ノ租稅ト公債トノ割合等カラ、考ヘ、先づ此ノ割合ハサウ變ヘナイ、又變へ難イ、斯ウ云フ觀點カラ、大體十七年度ノ豫算ハ或ハ二百四十億見當ニナリマスカ、此ノ一般會計ト臨時軍事費ノ純計二百四十億ニ對シテ、十八年度ハ二割五分カ三割見當ハ或ハ增加スルデアラウト云フヤウナ豫想ヲ立テ考ヘテ見マシテ、ソレヲ公債ト租稅ト云フ方面デ振割ツテ見ルト、大體十七億カラ二十億見當ノ國庫收入ガ必要デア

ル、斯ウ云フ關係カラ租税ノ方面ニ今回ノ額ガ大體決定セラレタノデヘナイカトモ想像セラマス、併シ是ハ唯サウ云フ方面カラ觀六億デハ困ル、折角色々ナ手續ヲ執ツテヤル以上八十億見當デナクテハ意味ヲ成サナイ、五六億シタダケアリマシテ、増税ヲヤル以上六十億見當位ハ必要デアルト云フ大難把ナ達觀論デ決メルコトモアリ得ルト思ヒマスケレドモ、併シ其ノ根據ヲ探ツテ見ルト、其處ニ私ハ相當ナ事由ガアルデアラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御意見ノアル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○賀屋國務大臣 租税ノ限度ニ付キマシテハ先程申上ゲタ通りアリマスルガ、一應數字ヲ色々イヂツテ見マス、併シ今朝程河野委員ニモ御答へ申上ゲマシタヤウニ、增稅ヲ計畫致シマスル場合ニハ臨時軍事費ノ數字ナドハ的確ニ分ツテ居リマセヌ、併シ之ヲル假想ヲ置イティデルト致シマシテ、今回ハ煙草ノ値上マデ入レマシテ、實質ガ平年度十五億圓程度ノ増稅デアリマスガ、是ハモツト二十數億圓主税局長ナドハ欲シクナル所デヤナカト思フ、直接稅上ダシタヤウニ色々ナ觀點カラ、直接稅はモツト二十數億圓度ニ考ヘマストアレ以上ノ見積リハ度ニ見積ツテ、正直ニ申上ゲマシテ何億圓マデニ必ズシヨウ、斯ウ云フコトデナク、今ノ見地カラ最大限ニ稅率ヲ盛り、新シイ課稅率ヲ考究シマシタ結果ガ其ノ數字ニ相

○木村(正)委員 私ハ實ハ次ニ御尋ネショウト思ツタノデアリマスガ、今御答ヘガアリマシタガ、今回ノ間接稅ノ増稅ト云フ御テハ間接稅デモウ少シ取レルモノガアルノ見テ取レルダケハ取ツテ居ルト云フ御意見デアリマセウガ、私共ハ見方ニ依リマシテハ間接稅デモウ少シ取レルモノガアルノデヤナカラウカ、併シ大體今度ノ增稅額ト云フモノヲ達觀セラレテ、ソレニ按配スル爲ニ一定ノ增稅ノ率ガ出タノデヤナカラウカトモ思フノデアリマスガ、只今ノ御話デアリマスト、サウ云フコトヲ顧慮シタノデナクテ、大體酒稅初メ總テノ間接稅ガ無理ノ奈イ所マデハ最高限取ラウト云フ御方針カトモ思フノデアリマスガ、只今ノ御話デアリマスト、サウ云フコトヲ顧慮シタノデナクテ、大體酒稅初メ總テノ間接稅ガ無理ノヤウデアリマシタガ、其ノ點モウ一度伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 今ノ御話ノ通リデアリマス、唯最高限マデ行ツテ居ルカドウカ、私ハ現狀ニ於テハ大體最高限マデ行ツテ居ルト思ヒマス、併シ國民生活デアリマストカラ、其ノ壓迫ノ加ハル力ニ相當ナ壓迫滲透ガアルグラウト思ヒマス、而シテ國民所得ハ平等ニハ分散サレテ居ナリマスカラ、ヤハリ國民大多數ノ生活ノ上ニ相當ナ壓迫滲透ガアルグラウト思ヒマス、ソレニ對シテハ政府トシテハドウ云フ對策現狀デアリマスカラ、其ノ壓迫ノ加ハル力ト云フモノモ影響ガ大デアルト思ヒマス、ソレ考ヘニナツテ居ルノデアルカ、或ハ何等考ヘテ居ラレナイノデアルカ、併シ俸給等モ相當引上ゲラレル御計畫モアルサウデアリマスカラ、私ハ其ノ他色々御計畫ガアリマスカラ、私ハ其ノ他色々御計畫ガアルダラウト思ヒマスカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○木村(正)委員 最後ニ國民生活ノ確保ニ

○木村(正)委員 官吏ノ優遇問題ト申シマスカ、增俸其ノ他今家族手當ノコトヲ承リ

○木村(正)委員 官吏一般ニ對シマシテハ、

○木村(正)委員 家族ノ範圍ヲ多少擴張致シタノデアリマス、

○木村(正)委員 其ノ他共濟組合ニ於キマシテ其ノ給付ノ程

○木村(正)委員 度、種類等ガ民間ヨリ稍、劣ツテ居リマスガ、

○木村(正)委員 ソレヲ民間竝ニ致シタ三點デアリマス、細

○木村(正)委員 ル、斯ベキ所ガアレバ勿論、稅額ダケノモノ

○木村(正)委員 ハ價格ヲ上ゲマシテモ、一方ソレヲ壓縮ス

○木村(正)委員 ル販賣價格ハ、別ノ意味デ壓縮スルト云フ

○木村(正)委員 ヤウナコトハ勿論行フノデアリマスルガ、

○木村(正)委員 リソレダケ其ノモノニ對スル消費ヲ節約ス

○木村(正)委員 ル、或ハソレ以外ナモノニ對スル消費ヲ節

○木村(正)委員 約シマシテ、資金ヲ國家目的ニ集中シ、結

○木村(正)委員 果トシテ勞力、資材ヲ戰爭目的ニ集中スル

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 ニ課スノデアルカラ別ニ國民生活ニハ何等

○木村(正)委員 影響ナシトシテ私ハ看過シテ置ク譯ニハ參

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ置カナクテハナラヌデハ

○木村(正)委員 ナイカ、是ハ國民ノ奢侈品的ナ聲澤ナ方面

○木村(正)委員 デアツテ、一般國民生活ヲ壓迫スルモノノデ

○木村(正)委員 ハナイト云フ建前ト思ヒマス、併シ國民生活ノ最低限ノ確保モ、此ノ增稅ノ結果、次

○木村(正)委員 第ニ壓迫ガ滲透シテ參ルノデハナカラウカ

○木村(正)委員 ト思ヒマス、是ハ如何ニシテ防止スルカト

○木村(正)委員 云フコトモ考ヘテ

○木村(正)委員 私ノ質問ハ済ミマシタ  
○松村委員長 有馬君  
○有馬委員 私ハ原則的ナ問題ニ付テ大藏大臣ニ一、二御伺ヒシタイト思ヒマス、今回ノ増稅ハ單ニ財政狀態ノ強化ト云フコトダケデハナクテ、積極的ニ戰力ヲ増強スルト云フ角度カラ、一貫シテ御立案ニナツタモノト解シテ宜シウゴザイマセウカ  
○賀屋國務大臣 御話ノ通りニ財政ノ強化モアリマスルガ、財政面ヲ通サズシテ、此ノ結果ガ戰時生產力ヲ増加スルト云フ面カラノ戰爭遂行力ノ強化ト云フコトヲ同時ニ目指シテ居ル譯デアリマス

ニ於テ工場或ハ鑄山等ノ稼働率ヲ最モ良ク  
スル爲ニハ、ドウシテモ食糧ノ確保ヲシナ  
ケレバナラナイ、安心シテ食糧ダケハ手ニ  
要ナコトデハナイカト思フノデアリマス、  
サウナツテ來マスト、食糧ノ増産ト云フコ  
トニナリマスガ、食糧ノ増産ハ農村問題ニ  
關聯シテ來ルノデアリマス、結局戰力ヲ増  
強スル一番直接的ナ大キナ役割ハ、先づ農  
村問題ノ解決カラ行クナケレバナラナイト  
私ハ思フノデアリマス、所ガ御承知ノ通り  
農村ハ現在餘リニモ深刻ナル情勢ニアリマ  
ス、農產物ノ價格が非常ニ安イト云フコト  
ハ何處デモ言ハレマスガ、是ハ寧ロ  
低物價ノ均衡ヲ破ツテ居ル位ニ、私ハ農產  
物價ハ安いモノデハナイカト思フノデアリ  
マス、其處へ持ツテ行ツテ統制ガ漸次強化  
サレテ行キマス爲ニ、統制機構ガ中間ニ出  
來マシテ、其ノ手數料ダケモ相當ナ負擔  
ヲ農村ハ負ツテ居ルノデアリマス、而シテ  
デアリマス、其處へ持ツテ行ツテ手數料ハ  
ニ、一面ソレデナクテモ收入ガ一向ニ殖エ  
ナイノニ、支出ハドンヽ＼殖エテ居ル情勢  
此ノ統制機構ガ非常ニ複雜化シテ來タ爲  
ニ、又取ラレルシ、又中間機構ガ澤山出來タ爲  
ニ手數ガ掛リマシテ、現金收入ノ期間ガ  
非常ニ延期サレテ居リマス、又公債ノ消化  
ニモ協力シナケレバナラナイ、斯ウ云フヤ  
ウナ情勢ニナツテ居ルノデアリマスケレド  
モ、現ニ煙草ノ如キモ值上ヲサレテ居リマ  
ス、是ハ決シテ農村ト無關係デハナイト思

砂糖ノ値モ上リマス、又増稅ニ於キマシテモ、  
フノデアリマス、燐寸等ノ物品稅モレ  
ツテ來ル譯デアリマス、全體ノ額カラ申上  
ゲマスレバ、ソレ程深刻ニ考ヘラレナイカ  
モ知レヌケレドモ、例へバ今日マデ農村ヘ  
何處へ行ツテモ米ノ値ガ安イト云フコトヲ  
言ツテ居リマス、其ノ形容ニドウ云フコト  
ヲ言ツテ居ルカト言ヘバ、蜜柑一ツト米一  
合ガ同ジダ、是ハ一體ドウ云フコトデアラ  
ウカ、深刻ナ叫ビデアリマス、所ガ今後増  
稅竝ニ煙草値上後ノ農村ハドウ云フコトヲ  
言ツテ居ルカト言ヘバ、煙草ノ「朝日」一ツト  
米一升ト同ジデアル、是ハ一體ドウ云フ譯  
デアラウカ、正シク深刻ナ狀況ニアルノ  
デアリマス、是ハ財政的ニ又經濟的ニ言  
ヘバ、今度ノ増稅竝ニ煙草値上ガ決シテ  
私ハ惡イト言フノデヤアリマセヌガ、農村  
ノ情勢ガ非常ニ深刻ニナツテ居リマスノ  
デ、實例ヲ舉ゲレバ幾ラモアリマスガ、  
餘リニモ深刻ニナツテ居リマシテ、寧ロ農  
村ハ微妙ナ歪ミト申セバ非常ニ失禮デアリ  
マスケレドモ、何ガ故ニ是程農村ヲ輕視ス  
ルデアラウカ、輕視ト云フ言葉ハドウカト  
思ヒマスガ何ガ故ニモウ少シ農村ヲ重要視シ  
テ吳レナイグラウカ、極端ニ言フナラバ米  
價ノ値上ラドウシテヤツテ吳レナイデアラ  
ウカ、洵ニ深刻ナ叫ビデアリマス、隨テ私  
ハ今度ノ增稅竝ニ煙草ノ値上ガ財政的ニ農村  
ニ及ボシテ居ル影響ガドウト云フノデハア  
リマセヌガ、サウ云フヤウナ深刻ナ情勢ニ  
アルダケニ、是ガ農村ニ及ボス心理的ナ影  
響ハ、又更ニ重大ナモノガ私ハアルト思フノ  
デアリマス、ソコデ一體此ノ米價ト云フモ  
ノニ付キマシテハ、左様ナ觀點カラ、決シ  
テ私ハ米價ノ公定價格ヲ引上げヨト言フノ

デハアリマスガ、買上價格、詰リ補償ノ  
ナイモノデアラウカドウカ、若シ圖レナイト云  
トスレバ、ソレハ經濟的ナ又經濟政策トシ  
テ今米ノ買上價格ヲ上ゲテハナラナイト云  
建前ヲ執ラレテ居ルノカ、ソレトモ財政ト  
ノ都合デヤレナイト云フノカ、其ノ點ヲア  
ヅ御伺ヒシタイト思フノデアリマス  
○賀屋國務大臣　只今政府トシテハ農村ニ  
付キマシテ、ハ相當ニ考ヘテ居ルノデアリマ  
シテ、御承知ノ如ク農村負擔ノ主要ナル地  
租ノ如キハ、殆ド租稅ノ上デ何處ニ行ツテ  
居ルカ分ラヌト云フ位、他ノモノニ比べマ  
シテ輕クナツテ居リマスシ、增稅ナドモ殆  
ド行ハレヌヤウナ狀況デアリマス、其ノ他  
十分注意シテ居リマス、農林大臣モ中間機  
關ノ手數料ナドハ極力引下ゲルヤウニ努力  
シテ居ルト云フコトヲ、豫算委員會ナドデ  
答辯致シテ居ラレルヤウナ譯デアリマシテ、  
極力其ノ點ニ付キマシテハ留意ヲ致シテ居  
ルノデアリマス、只今御話ノ米價デアリマ  
スガ、是ハ財政上ノ觀點デハアリマスエ、  
色々御議論モアリマスガ、米ハ鐵、石炭ト  
同ジヤウニ生産力又國民生活ノ中心ヲ成シ  
マスモノデ、是ハ理窟ヲ言ヘバ色々アリマ  
セウガ、觀念的ニ中心ヲ成シテ居ル、此ノ  
販賣價格ガ動クト云フコトヘ、物價政策ノ  
基本上非常ニ重要ナコトデアリマスノデ、  
國家ハ所謂二重價格制ヲ採用シテマデモ之  
ヲ動カサヌ、斯ウ云フ方針ヲ基本ニ執ツテ  
居ルノデアリマス、然ラバ米ノ買入價格ニ  
付テ如何ト云フ問題デアリマスガ、只今農  
林大臣ハ之ヲ動カス意思ナシト云フ考ヘト  
聞イテ居リマス、私自分ノ主管ノコトデア  
リマセヌカラ、詳シク申上、ガルコトハ不適

ノ見解ヲ持ツテ居ラレマス尙ホ他ノ物價ト  
ノ状況ニ比べマスレバ、是ハ先般モ正當ナ  
ル利潤追求ト云フヤウナ考ヘ方ノ際ニモ申  
上ゲマシタガ、平時ノ自由經濟時代ニ於キ  
マシテハ、ヨリ利益ガアルヤウニ、ヨリ利  
益ノアル仕事ニ轉換シテ行カウト云フコトガ  
許サレテ居ツタノデアリマスガ、戰時ヘソ  
レヲヤラナイデ適正最少限度ノ利益ガアレ  
バ、ソレデ満足シテ其ノ仕事ヲヤル、詰  
リ利ヲ逐ウテ動カナイカト云フ問題ニ對シ  
マシテハ一應農林大臣ノ見解モ其ノ通りデ  
アリマス、他ノ物ト區別アリトスレバ、他  
ノ物ニ對スル物價統制、利潤ノ適正化ヲ極  
力圖ツテ、不均衡ノナイヤウニ努力ヲ致シ  
テ行クベキ必要ガアルト存ジテ居リマス、  
尙ホ專賣品ノ價格ニ付キマシテハ、實ハ觀念  
的ニドウモ分リニクイ所ガアリマスノデ、  
朝日一箇四十五錢ト云ヒマシテモ、實際ノ  
值打ハ幾ラカ、稅ガナイトシマスト恐ラク  
十錢ニ遙カニ届カヌノダ、實際ニ於テハ稅  
ヲ納メテ居ルノダ、米ノ一升ノ値ト同ジモ  
ノデナイ、普通ノ値ト違フノダト云フコト  
ヲ、凡ユル機會ニ理解出來マスヤウニ御願  
ヒシタイト思フノデアリマス、此ノ關係ガレ  
ドモ、實際ノ値打トシテハ是ハ十分ノニ  
モ當ラナイモノダ、是ハオ互ヒニ御話ヲ致  
ス時ハ無論分ツテ居リマスガ、世間ニハ分  
リニクイ所デアリマスカラ、何トカ此ノ點

ニ付キマシテハ一般ニモ正當ナ觀念ガ行キ  
渡リマスヤウニ、又御盡力ヲ御願ヒシタイ  
ト思ヒマス

○有馬委員 勿論大臣ノ仰シヤル通りニ農稅金ヲ納メテ居ルト云フコトハ、寧ロ私共ガ言フマデモナク能ク分ツテ居ルト思フノデアリマス、ソレダカラコソ納稅ノ成績モ好ク、又公債消化ノ成績モ順調ニ行ツテ居ルノダト思フノデアリマス、國ニ盡ス意味ニ於テハ、最モ私ハ純眞ナ赤心ヲ持ツテ居ルノガ農民ニアラウト思ツテ居リマス、其ノ點ハ決シテ御心配ハナインデアリマスガ、其ノ話ダケ分ツテモ、中々今ノ農村ト云フモノハ、決シテ打開スルコトノ出來ナイ狀勢ニアルノデアリマス、一口ニ言ヒマスナラバ、他ノ農產物價竝ニ他ノ農產物以外ノ物價トノ均衡問題デアリマス、其ノコトニ付テハ、御所管デハアリマセヌカラ私ハ申シマセヌガ、二重米價ノ問題ニ付テ買上價格ガ引上ガラレナイト云フコトハ、財政ノ方デハノ都合デハナイト仰シヤイマスガ、サウナリマスト、經濟政策上カラ是ハ引上げテハナラナイト云フ結論ニ、恐ラク政府ノ方デハナツテ居ルノデアラウト想像サレマス、所ガ經濟政策上カラ申シマスナラバ、是ハ明カニ均衡ガ取レテ居ナインデアリマシテ、當然此ノ買上價格ト云フモノハ上ゲテヤラバ、ナケレバナラナイ段階ガ、モウ來テ居ルト因フノデアリマス、隨テナゼサウ云フコトガ必要デアルカト言ナラバ、單ニ農村ノ生強クナツテ居リマス、是ハ色々ノ理由ガアリ

ルコトニアリマスガ、極端ナ場合ヲ申シマ  
スナラバ、重工業或ヘ其ノ他ノ會社ニ働イ  
テ居ル者ニハ、家族手當ト云フモノガ支給  
サレテ居リマス、官吏ニモ亦家族手當ガ支  
ガ行ハレテ居リマス、所ガ農村ニハ何物モ  
ナイノデアリマス、サウ云フコトマデガ農  
民ノ離農傾向ト云フモノヲ非常ニ強メテ居  
リマス、而シテ又生計ガ立ツテ行カナイト  
云フコトモ大キナ原因デアリマスカラ、是  
ハ此ノ際經濟政策ニ於テ、政策上カラ決シ  
テ引上げテハナラナイ、公定價格ハ勿論引上  
ゲルベキデハナイト思ヒマスガ、二重價格  
ノ補償金ヲ増加スルト云フコトハ、經濟政  
策上カラ言ツテ支障ヲ來スヤウナコトハ恐  
ラクナイデハナカラウカト思フノデアリマ  
ス、先程大臣ノ御話ヲ承ルト、將來日本ハ  
必ズ勝ツモノデアリ、共榮圈ト云フモノモ  
大發展ヲスルノデアルカラ、公債ト云フモ  
ノニ付テモ決シテ不安ハナイト仰シヤツテ  
居リマスガ、ソレ程日本ノ財政ノ前途ニ光  
明ノアルコトハ、私モ信ジテ居ル一人ニア  
リマスカラ、此ノ際戰力ノ増強ノ爲ニ絶對  
必要デアル此ノ食糧ト云フモノヲ確保スル  
爲ニハ、私ハ少シ位ノ公債ヲ増發シテモ、  
少クトモ會社ノ家族手當ニ相當スル位ノモ  
ノハ何トカ農村ニ奮發シテヤツテ戴キタイ  
ト思フノデアリマス、特ニ又今度ノ稅金ハ  
奢侈稅ニアリマスガ、是ハ主トシテ都會ニ  
重ク課ツテ來ル稅金デハナイカト思フノデ  
アリマセウガ、但シ食糧ダケハ何トカシテ  
確保シタイト云フ氣持デ居リマス、隨テ若

○賀屋國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ先  
マス  
ノイト云フナラバ、更ニモツト奢華税ヲ増  
徴シテ貰ツテ、其ノ税金ヲ以テ農家ノ方ニ  
ソレヲ分與シテ貰フ、サウシテ米價ノ實質  
的ナ引上げニ充テテ貰フト云フヤウナコト  
ガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス  
ガ、モウ一遍米價ノ問題ニ付テ二重米價ニ  
於ケル買上價格ノ引上げ、詰リ補償金ノ増  
額ト云フコトニ付テ政府ニ於ケル大藏大臣  
トシテノ御所見ヲ率直ニハツキリト御答ヲ  
願ヒタインデアリマス、而シテモウ一ツ序  
ニ伺ヒタインハ、今期議會ニ於キマシテ、  
米價補償ノ追加豫算ヲ御出シニナル御方針  
ハナイモノデアルカ、御考慮サレテ居ルモ  
ノデアリマス、其ノ點ヲ伺ヒタインデアリ

○賀屋國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ先  
程申上ゲマシタヤウニ主管大臣ニ於テ只今  
其ノ考ヘナシト云フコトデアリマシテ、私  
モ其ノ通リデアリマス、今家族手當ノ御話  
モアリマシタガ、是ハ色々例ニ御引キニナ  
ツタユトデアリマスガ、是ハ使用者ガ被使  
用者ニ對スル一ツノ給與ノ方法ノ單純ナ月  
給制度ノ複雜ニナツタ一要素デアリマス、  
農村ノミナラズ、其ノ他ノ企業形態ニ於キ  
マシテモ、中小商工業者ト獨立企業者ニハ  
適用致シ難イノデアリマス、併シ政府が手  
ガ伸ビマスル範圍内ニ於キマシテハ、所得  
稅法ニ於テ相當ノ家族控除ヲ昨年ノ改正ノ  
時ニ致シマシテ、或ル程度ニ於テサウ云フ考  
へ方ヲ始メテ出シマシタ譯デアリマシテ、  
サウ云フ點ニ全然心遣ヒヲシナイト云フ音  
味デハナイ心持ニ相成ツテ居リマス  
○有馬委員 モウ一點最後ニ簡單ニ御伺ヒ  
シタイコトハ、政府ハ年々消費ノ抑制或

財政ノ強化ト云フ建前カラ租稅ノ増徵ヲ圖  
ツテ來テ居ルノデアリマスガ、今日マデ戰  
時ノ增稅ヲ始メマシテ、消費ノ節約ト云フ  
部面ダケ限ツテ見タ場合ニドノ程度ノ功績  
ト言ヒマスカ、效率ヲ擧ゲテ居リマスカ  
テ出来ルダケ便宜ナ取計ラヒヲ致シタイト  
思ヒマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後五時三十分散會

○賀屋國務大臣 今數字的ニ一寸私申上ガ  
ル資料ヲ持ツテ居リマセヌガ、何サマ國民所  
得ハ事變前カラ見マスト二倍以上ニナリ、  
之ヲ放置シテ置ケバ非常ナ消費増加ニナル  
ト思ヒマス、一方消費對象其ノモノノ供給  
ノ面カラモ參リマスシ、一方相當急進的ナ  
課稅カラ參リマシテ、寧ロ放ツテ置ケバ殖  
エルノガ非常ニ抑ヘラレル、物ニ依ツテハ  
相當程度減少スル、斯ウ云フ狀態ニアル、  
只今藝妓ノ花代ニ付キマシテ稅收ハ相當上  
ツテ收入減ヲ見込ンダヨリハ上リマシタガ、  
併シ内容ヲ見マスト、稅額ハ上リマシタガ、  
其ノ藝妓ノ代トシテ拂フ金額ハ若干減少ス  
ル、只今マデサウ云フ狀態デアリマス、今度  
ハ特ニ非常ニ大幅デアリマスカラ相當影響  
スルノデハナイカ、又稅收入ノ見積リト致  
シマシテモ、相當ノ減ヲ見込ンデ居リマス、  
ソレ以上ニ私ハ減ルコトヲ寧ロ切ニ希望シ  
テ居ル譯ニアリマス

○有馬委員 具體的ニ分ルモノガアリマシ  
タラ他ノ機會デ結構デアリマス、大藏當局  
カラ分ルモノダケデ結構デアリマスカラ御  
願ヒ致シマス、是デ質問ヲ終リマス

○松村委員長 ソレデハ本日ハ是ヲ以テ散  
會致シマス、明日ハ午前十時デアリマスガ、  
部屋ノ都合モアリマスノデ、午前ダケ、明  
後日モ大體部屋ノ都合デ委員課カラ午前ダ  
ケニ願ヒタイト云フ希望ガアリマスノデ、  
大體左様ニ取計ラヒタイト思ヒマスサウシ  
テ農林大臣其ノ他ノ方ハ都合ヲ計ラヒマシ